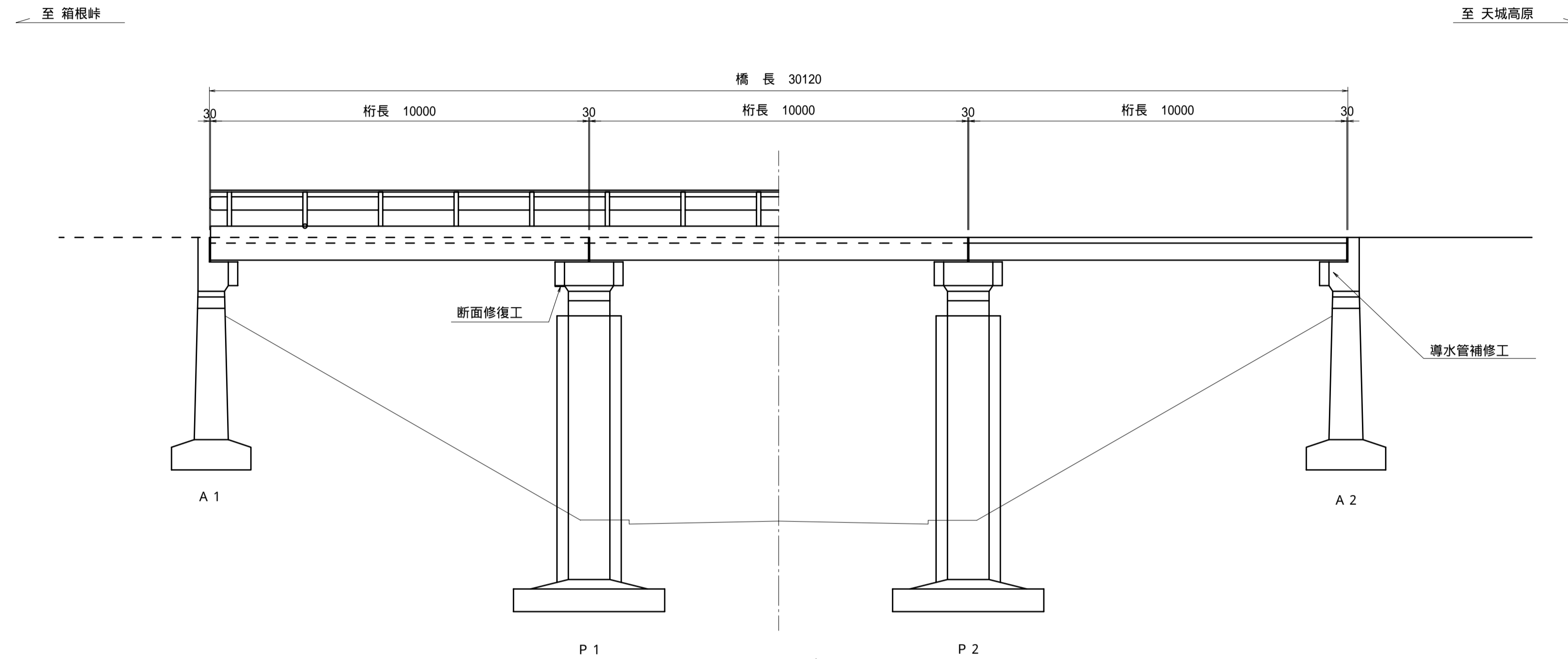
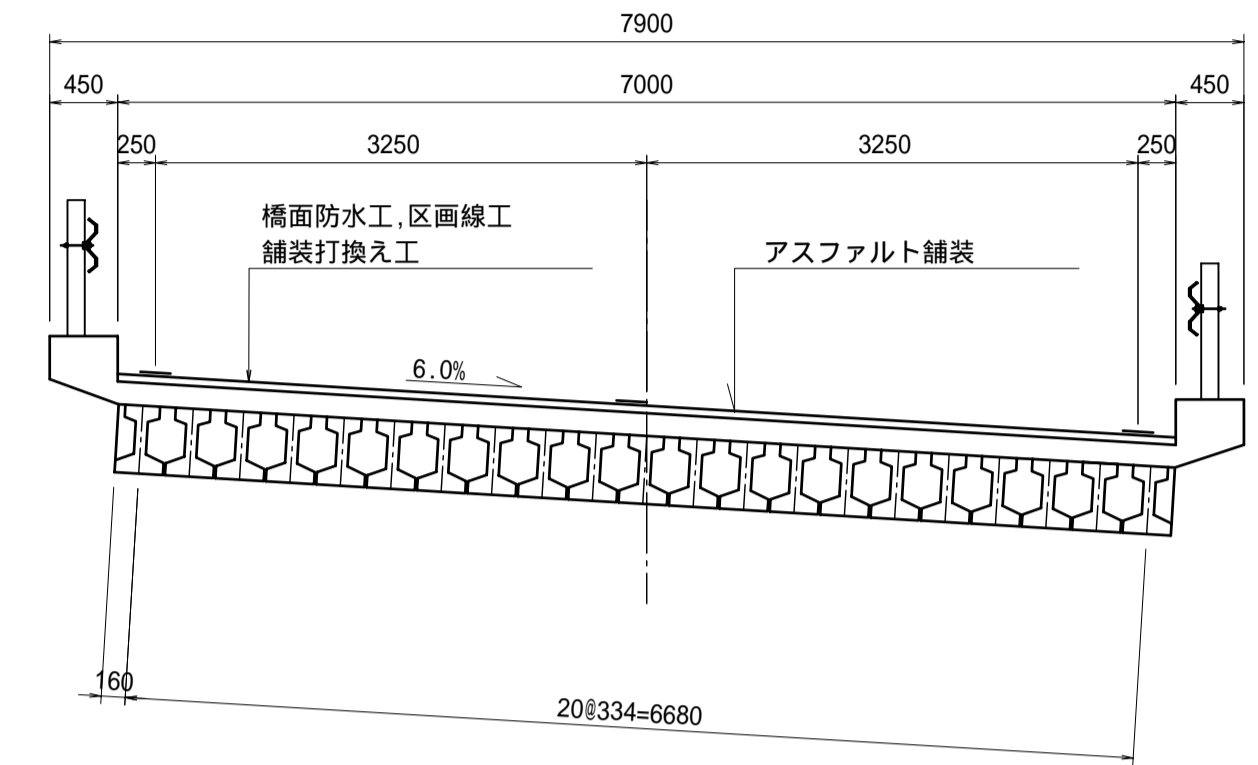


山伏橋 補修一般図

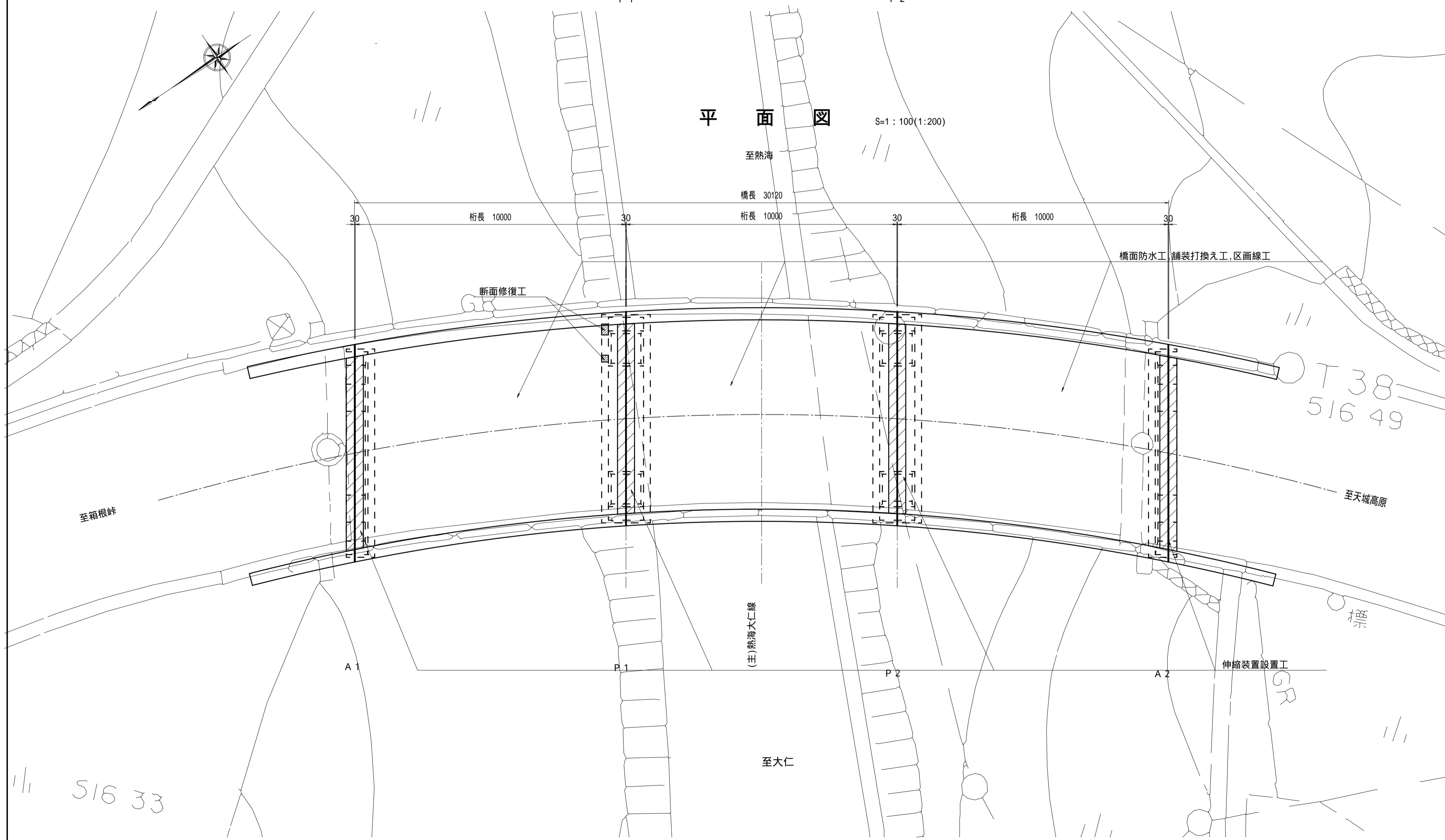
側面図 S=1:100(1:200)



上部工断面図 S=1:50(1:100)



平面図 S=1:100(1:200)



橋梁条件	
架設年次	1962年(昭和37年9月)【架橋後53年経過】
路線名称	伊豆スカイライン
上部工形式	3径間単純P C床版橋
橋長	30.120m
支間長	3810.0m
有効幅員	7.000m
全幅員	0.450m+7.500m+0.450m=7.900m
縦断勾配	LEVEL
横断勾配	6.0%
斜角	-
支承条件	不明
下部工形式	A1、A2橋台：RCラーメン P1、P2橋脚：RCラーメン
基礎工形式	A1、A2橋台：直接基礎 P1、P2橋脚：直接基礎
設計活荷重	1等級：TL-20(既設図面より)
地盤種別	不明
設計水平震度	不明
下部工設計基準強度	不明
下部工鉄筋	不明
塗装履歴	-
伸縮装置	未設置
添架物	-
適用示方書	昭和31年 鋼道路橋示方書

補修・補強履歴	
宥座縁端拉幅	あり(施工年次不明)
落橋防止構造	なし
横変位拘束構造	なし
橋脚耐震補強	平成9年
塗装履歴	-
舗装打ち換え	切削オーバーレイ(平成11年度実施)
橋面防水	なし
伸縮装置取替え	なし
橋梁点検	定期点検(詳細)(平成20年、平成26年)

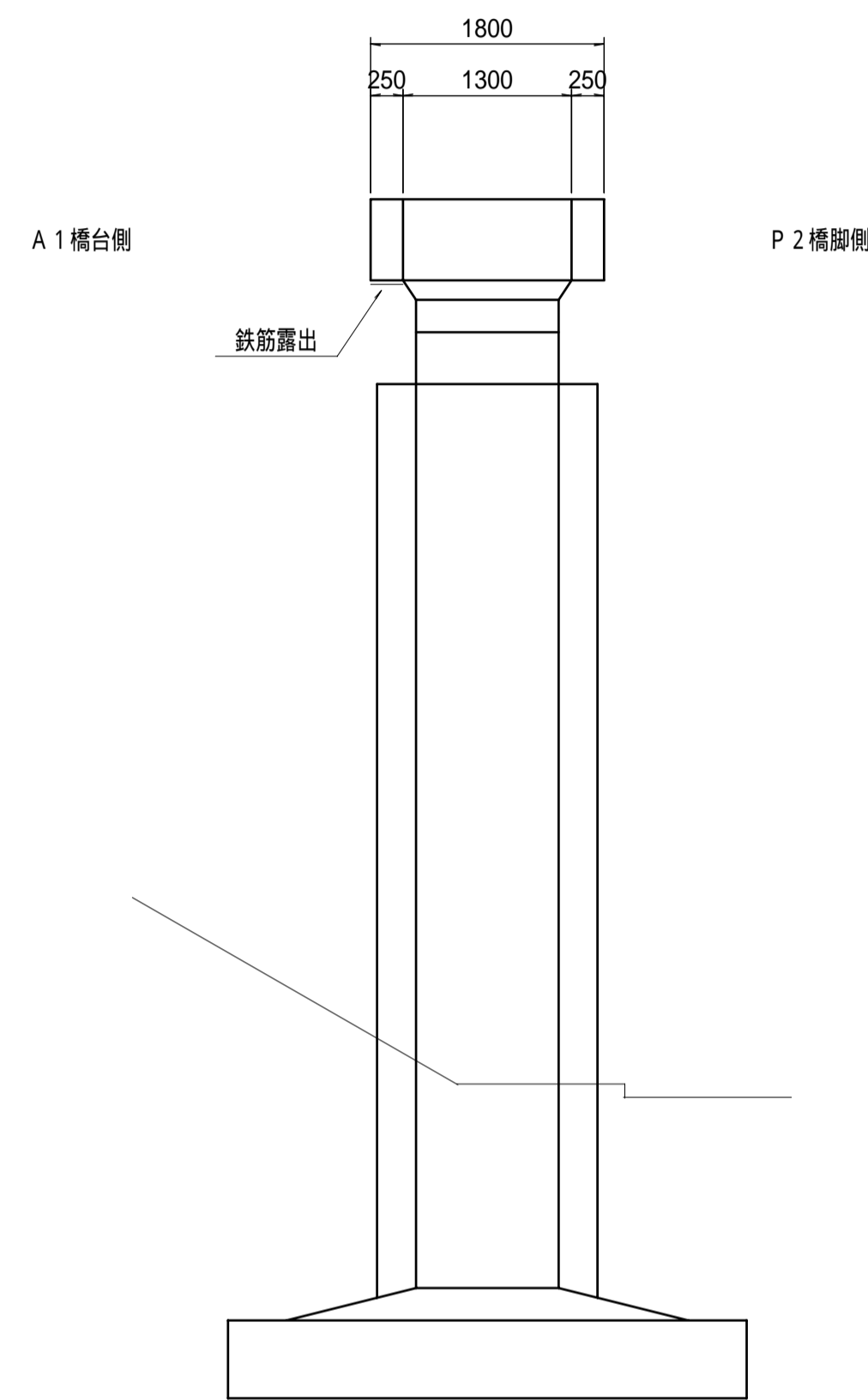
補修工数量表				
工種	補修箇所	単位	数量	備考
清掃工	間詰め部	m2	10	
橋面防水工		m2	199	塗膜系
伸縮装置設置工	A1・P1・P2・A2	m	28.26	
断面修復工	P1橋脚	m3	0.006	
導水管補修工	A2橋台付近	箇所	1	

工事名	平成28年度 伊豆スカイライン 橋梁補修工事
工事箇所	伊豆の国市 浮橋 地内
図面の種類	山伏橋 補修一般図
縮尺 図示 ()内はA3縮小	図面番号 11 葉中 1
測量年月日H	設計年月日H
事務所名	静岡県道路公社

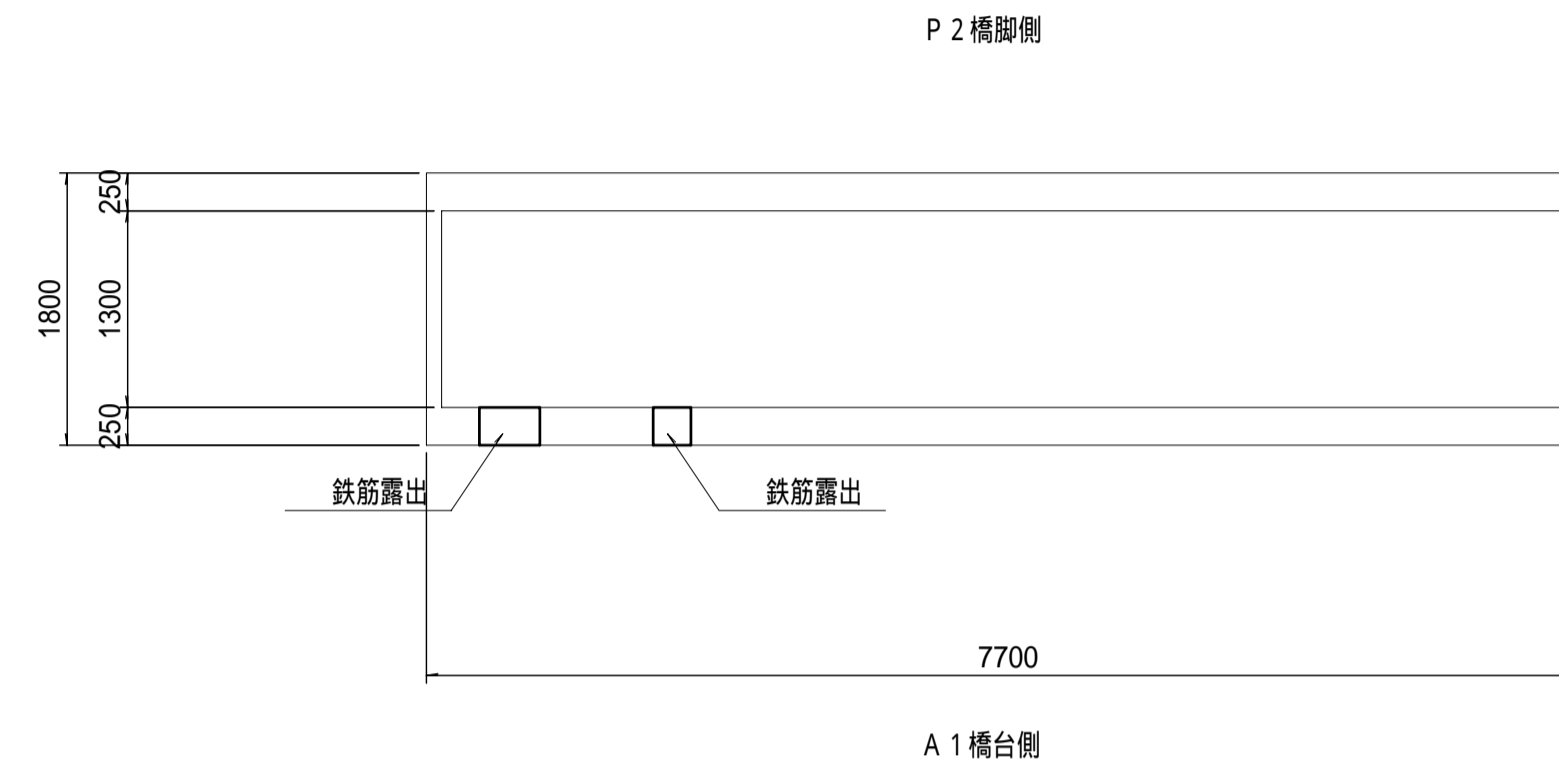
下部工損傷・補修図

S=1 : 50(1 : 100)

P1橋脚側面図



P1橋脚平面図

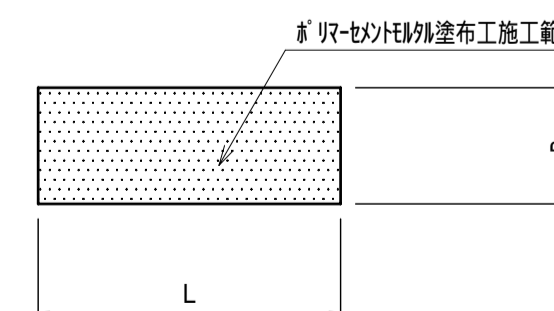
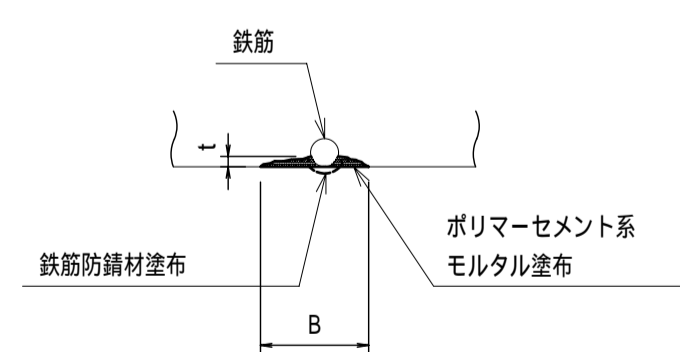


P1橋脚損傷・補修寸法表

① - ②

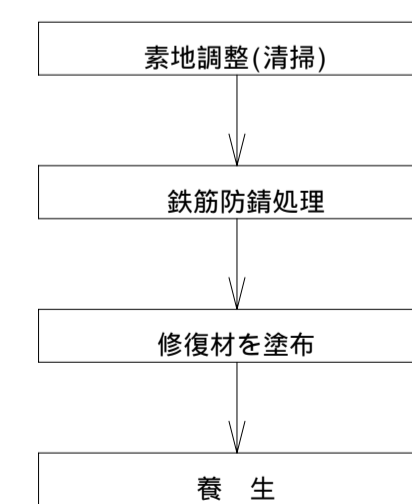
位置	損傷状況	幅B(mm)	長さL(mm)	深さt(mm)	箇所数	補修内容	幅B(mm)	長さL(mm)	深さt(mm)	箇所数	
1	P1橋脚縁端拡幅	鉄筋露出	250	400	20	1	鉄筋防錆・ δ リマ-セメント珪砂塗布	250	400	30	1
2	P1橋脚縁端拡幅	鉄筋露出	250	250	20	1	鉄筋防錆・ δ リマ-セメント珪砂塗布	250	250	30	1

鉄筋防錆・ δ リマ-セメント珪砂塗布工詳細図



δ リマ-セメント珪砂塗布寸法 B x L x t

施工フロー

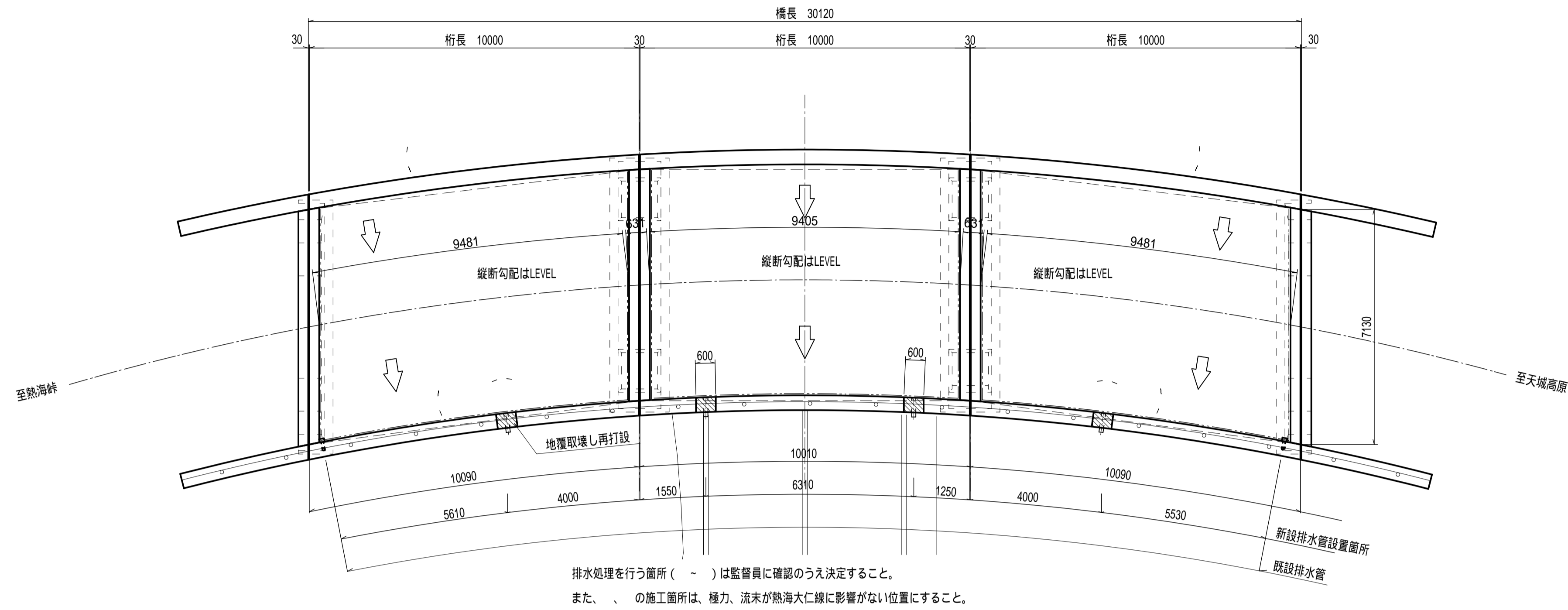


- 注) 1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」および「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し併せて監督員の手承を得た上で行うこと。
 2. 施工に当たっては、施工箇所、施工範囲、施工深さを再度現地計測の上決定のこと。
 3. 図面に表されていない損傷を確認した場合は、補修対象とするか監督員と協議すること。

工事名	平成28年度 伊豆スカイライン 橋梁補修工事
工事箇所	伊豆の国市 浮橋 地内
図面の種類	下部工損傷・補修図
縮尺 図示 ()内はA3縮小	図面番号 11 葉中 2
測量年月日 H	設計年月日 H
事務所名	静岡県道路公社

橋面防水工詳細図(1)

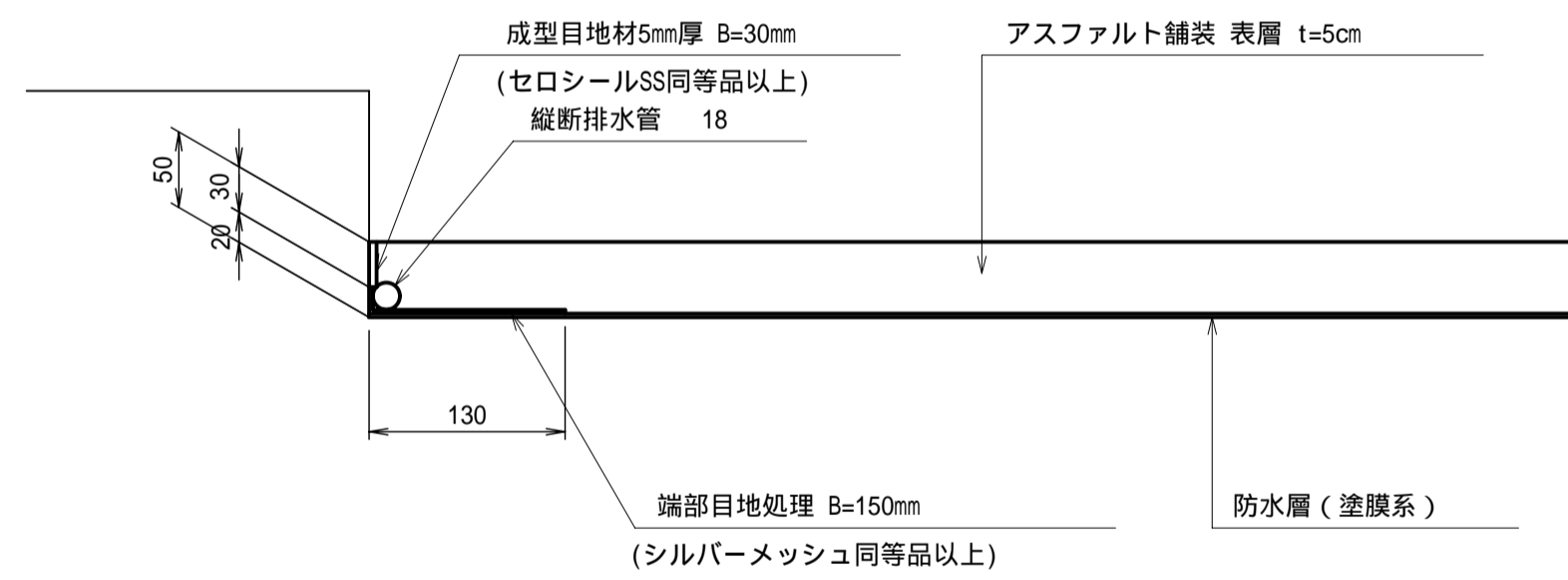
平面図 S=1:100(1:200)



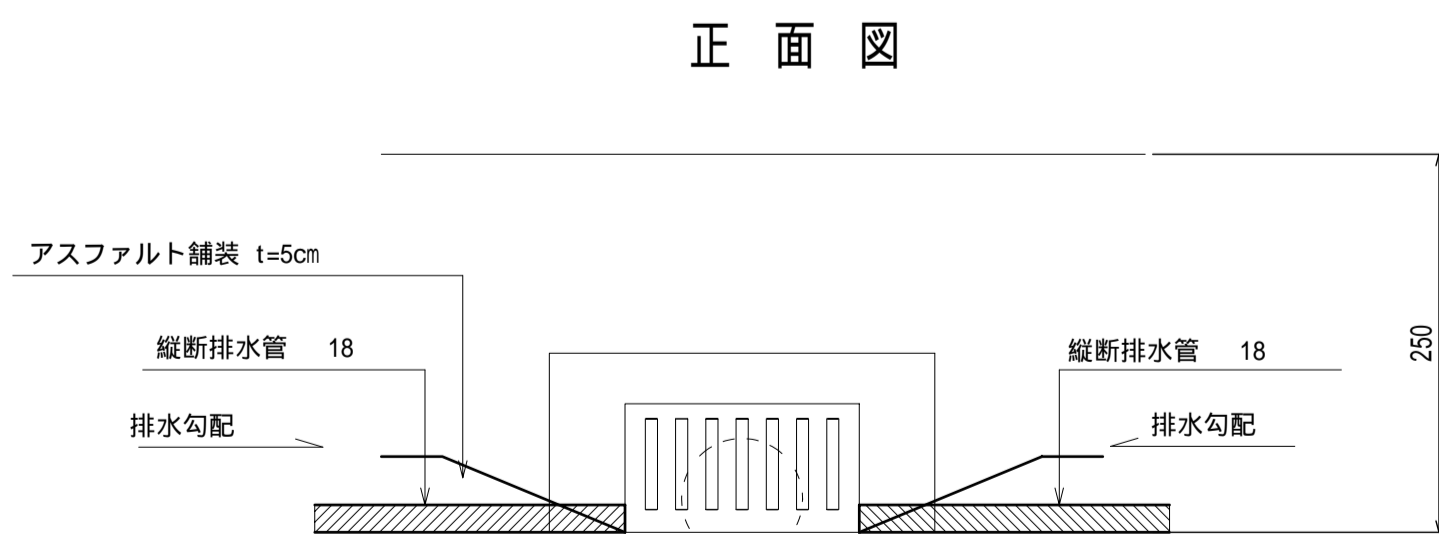
排水処理を行う箇所()は監督員に確認のうえ決定すること。
また、の施工箇所は、極力、流末が熱海大仁線に影響がない位置にすること。

- 橋面防水工施工範囲(舗装打換え・塗膜系防水層)
- 地覆取壊し再打設
- 排水勾配方向
- 縦断勾配はLEVEL

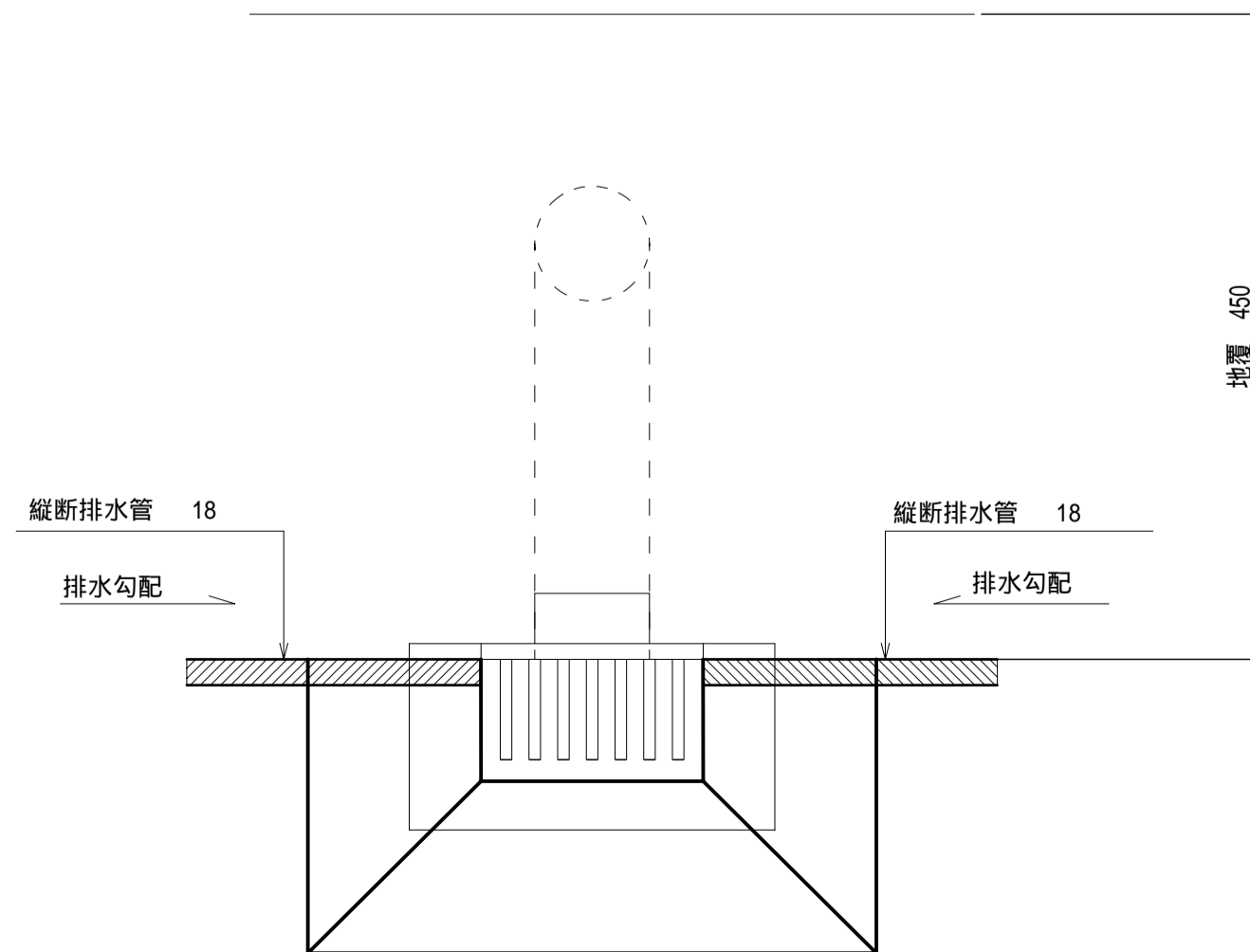
防水工詳細図 S=1:5(S=1:10)



排水桝接続部詳細図 S=1:5(S=1:10)
(2箇所)

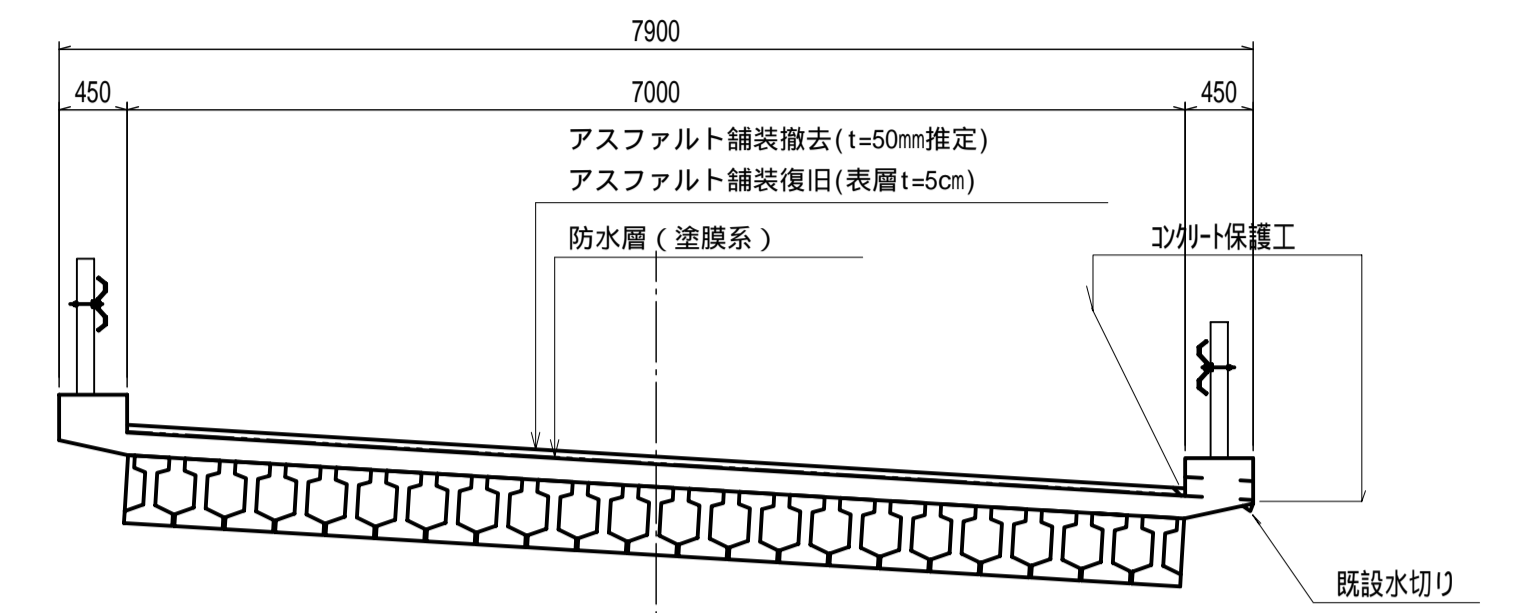


正面図



平面図

上部工断面図 S=1:50(1:100)



現況は、竣工時のコンクリート舗装の上に、アスファルト舗装が舗装されている。

排水管数量表 1式当り

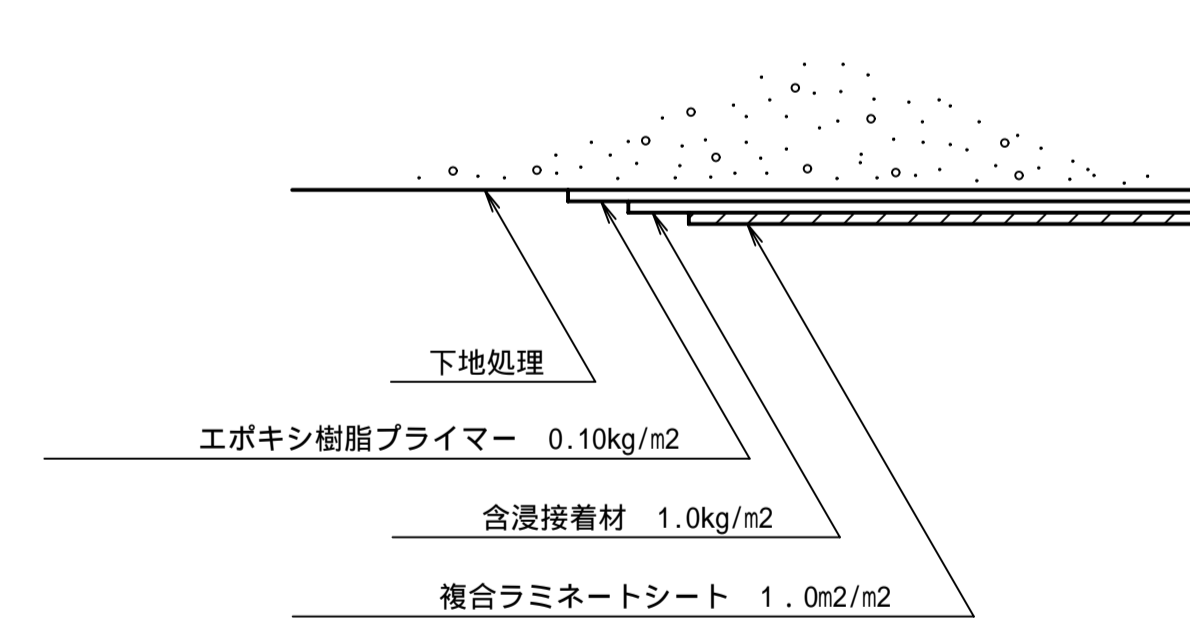
名称	規格	算式	単位	数量
排水管	STW400 125×125×6 消音部φH4250	1.573×21.7kg/m×4	kg	136.5
取付金具-A		別紙図面参照	kg	4.2
取付金具-B		別紙図面参照	kg	14.2
中間PL		別紙図面参照	kg	5.6
削孔	適合1種径18mm 削孔深さ50mm	2×4	孔	8

地覆復旧工数量表 1式当り

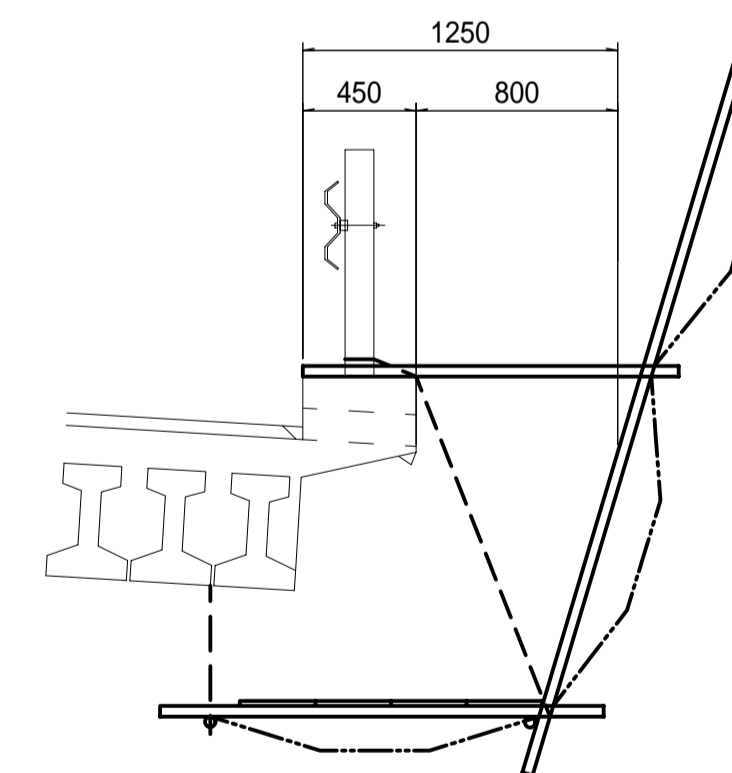
名称	規格	算式	単位	数量
コンクリート	24-8-25BB	1/2×(0.25+0.277)×0.45×0.60×4-0.125×0.125×0.45×4	m3	0.256
型枠	鉄筋構造物	(0.25+0.277)×0.60×4	m2	1.26
鉄筋		別紙図面参照	kg	43.7
コンクリート保護工		(0.25+0.277+0.45)×0.60×4-0.125×0.125×2×4	m2	2.22
コンクリートカッター	平均厚さ26cm	0.45×2×4	m	3.60
コンクリート取壊し	鉄筋構造物	1/2×(0.25+0.277)×0.45×0.60×4	m3	0.28
敷連撤処理	Co殻	1/2×(0.25+0.277)×0.45×0.60×4	m3	0.28

コンクリート保護工詳細図

地覆取壊し箇所に対して、コンクリート保護工の現況復旧を行うこと。

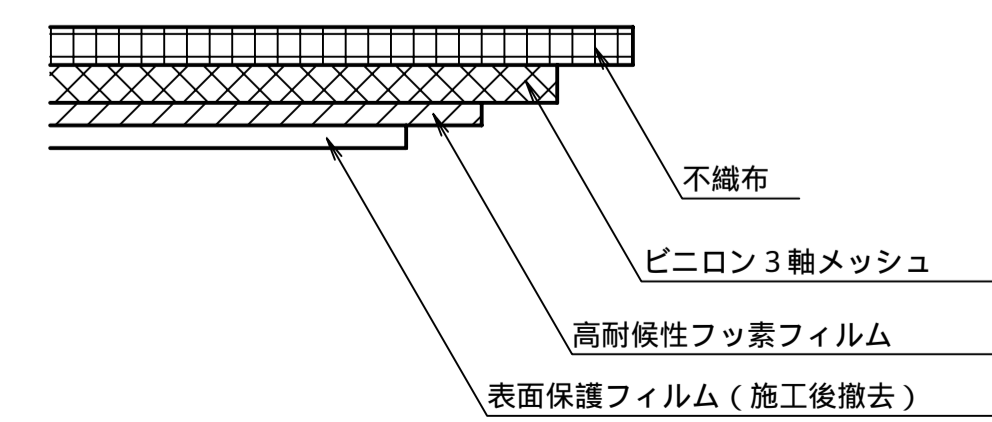


吊り足場(参考図) S=1:30(1:60)



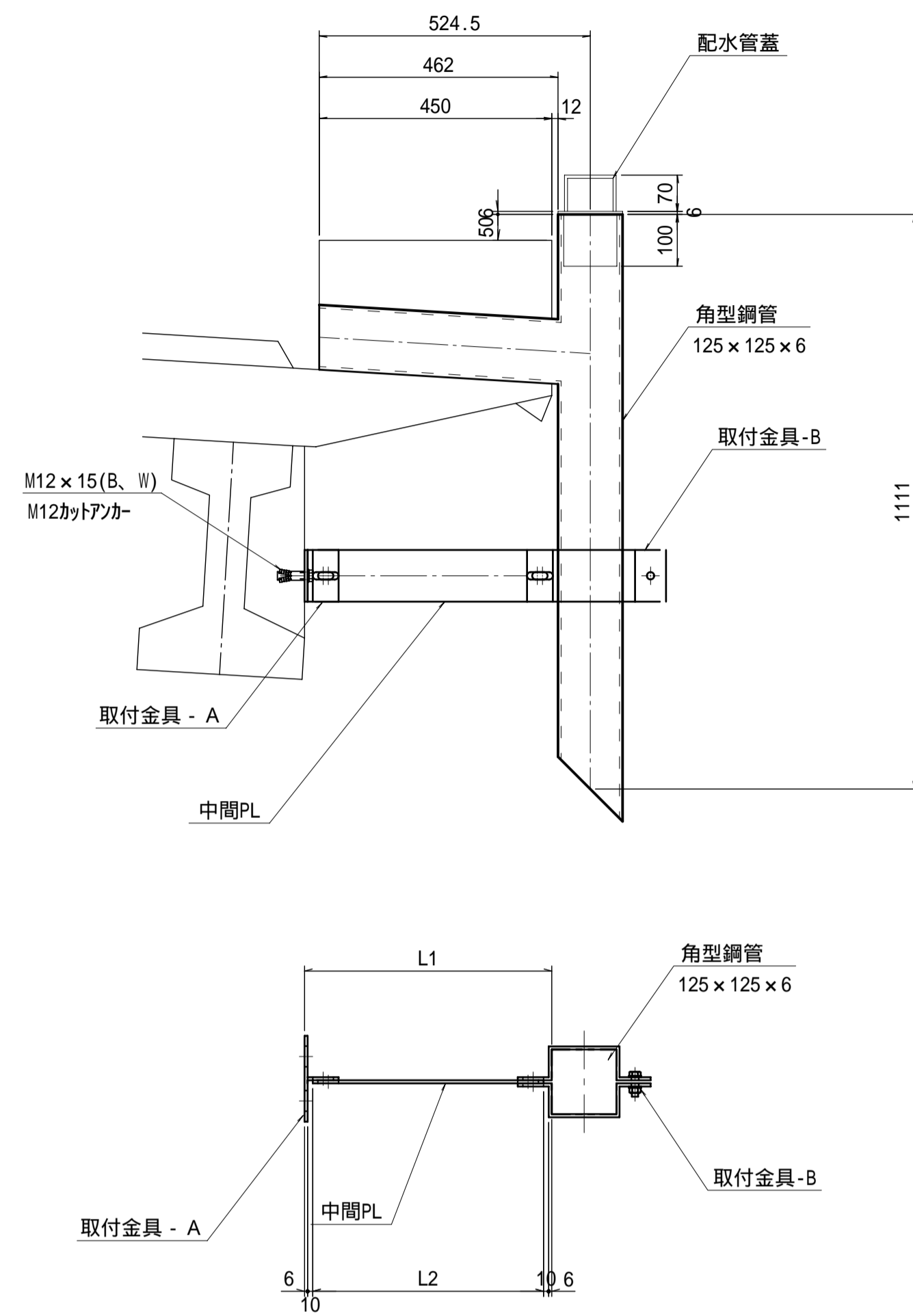
注)1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」および「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
2. 施工に当たっては、施工箇所、施工範囲、施工深さを再度現地計測の上決定のこと。

特殊ラミネートシート構成図



工事名	平成28年度 伊豆スカイライン 橋梁補修工事
工事箇所	伊豆の国市 浮橋 地内
図面の種類	橋面防水工詳細図(1)
縮尺 図示 ()内はA3縮小	図面番号 11 葉中 3
測量年月日H	設計年月日H
事務所名	静岡県道路公社

橋面防水工詳細図(2)



取付金具-A数量表

種別	形状・寸法(mm)	1個分重量(kg)	数量	重量(kg)	摘要
FB	100 x 6 x 166	0.78	4	3.1	SS400・HDZ35
FB	100 x 6 x 60	0.28	4	1.1	SS400・HDZ35
BOLT	M 12 x 40 (1 B, 1 UN, 2W)		4		
BOLT	M 12 x 15 (1 B, 1 W)		8		
カットアンカー	M 12		8		
重量合計				4.2	kg

取付金具-B数量表

種別	形状・寸法(mm)	1個分重量(kg)	数量	重量(kg)	摘要
FB	100 x 6 x 376	1.77	8	14.2	SS400・HDZ35
BOLT	M 12 x 40 (1 B, 1 UN, 2W)		8		
重量合計				14.2	kg

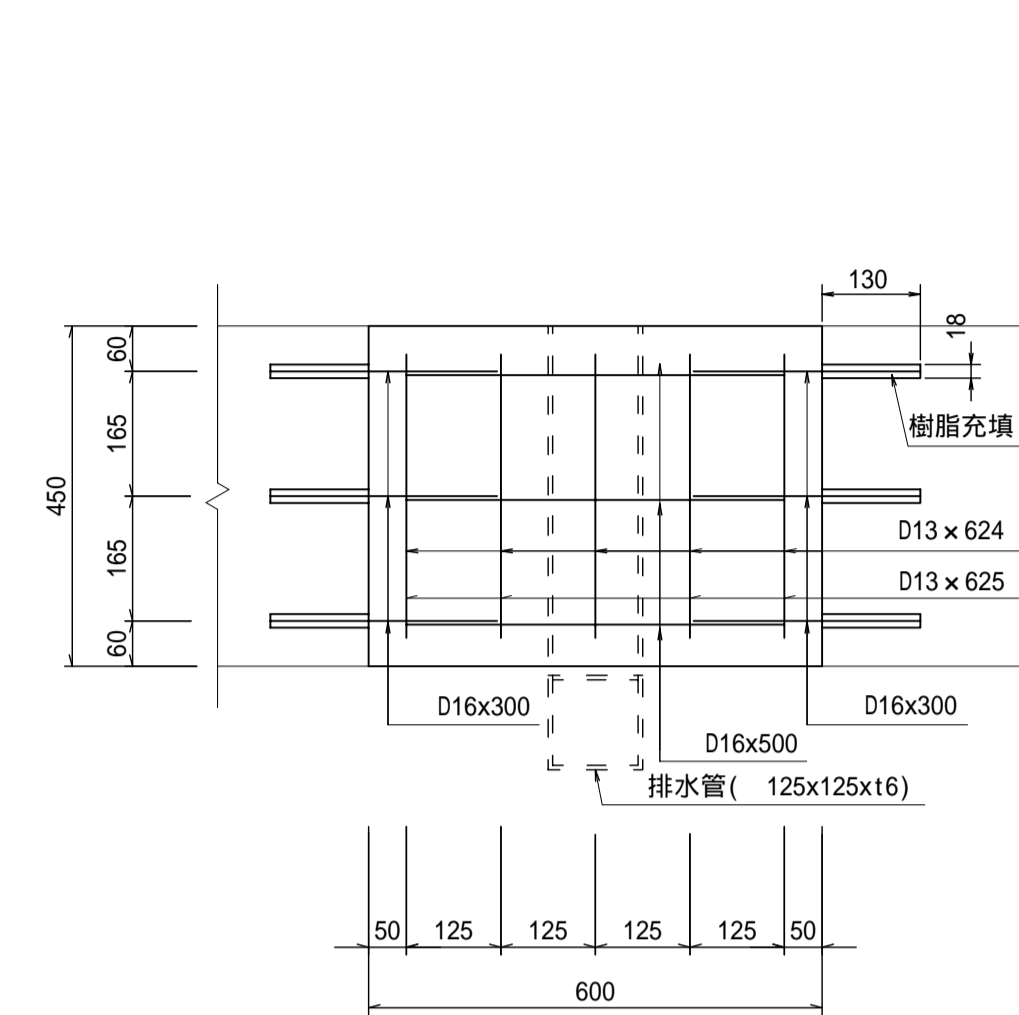
中間PL数量表

種別	形状・寸法(mm)	1個分重量(kg)	数量	重量(kg)	摘要
FB	100 x 6 x 270	1.27	1	1.3	SS400・HDZ35
FB	100 x 6 x 326	1.54	1	1.5	SS400・HDZ35
FB	100 x 6 x 326	1.54	1	1.5	SS400・HDZ35
FB	100 x 6 x 270	1.27	1	1.3	SS400・HDZ35
重量合計				5.6	kg

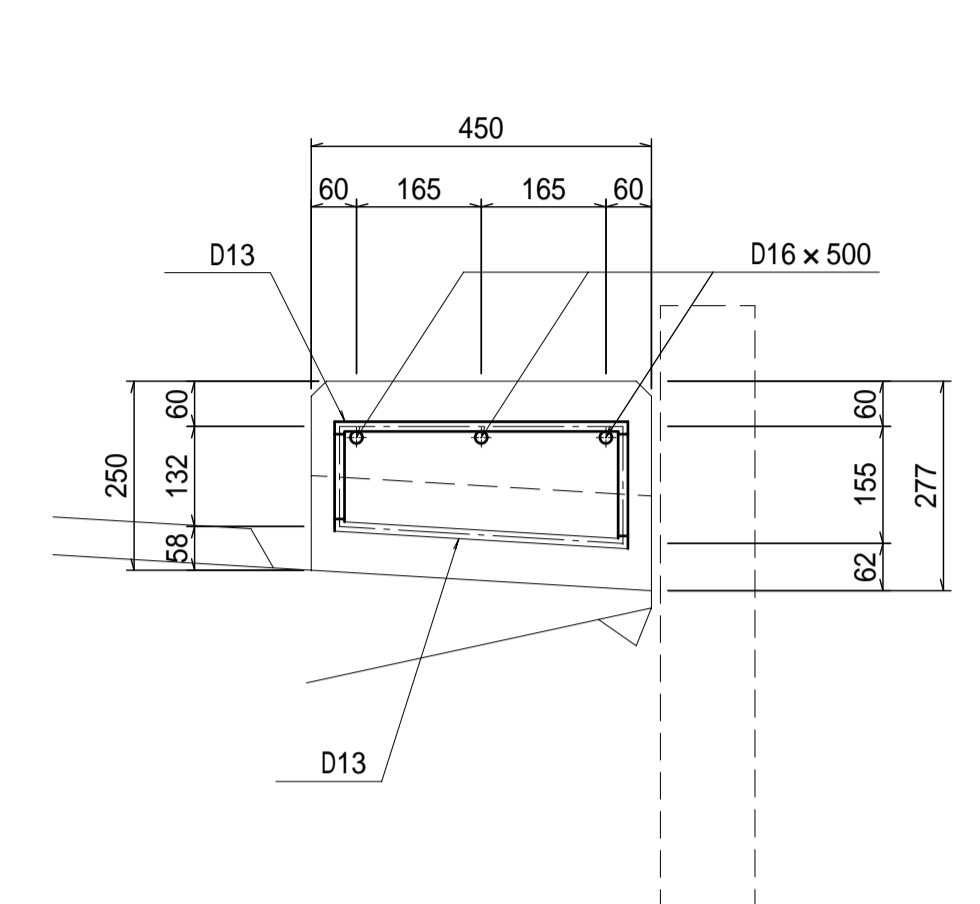
配水管蓋数量表

種別	形状・寸法(mm)	1個分重量(kg)	数量	重量(kg)	摘要
STKR	100 x 100 x 3.2 x 100	0.95	4	3.8	STK400・HDZ35
PL	125 x 6 x 125	0.74	4	3.0	SS400・HDZ35
RB	6 x 240	0.05	4	0.2	SR235・HDZ35
重量合計				7.0	kg

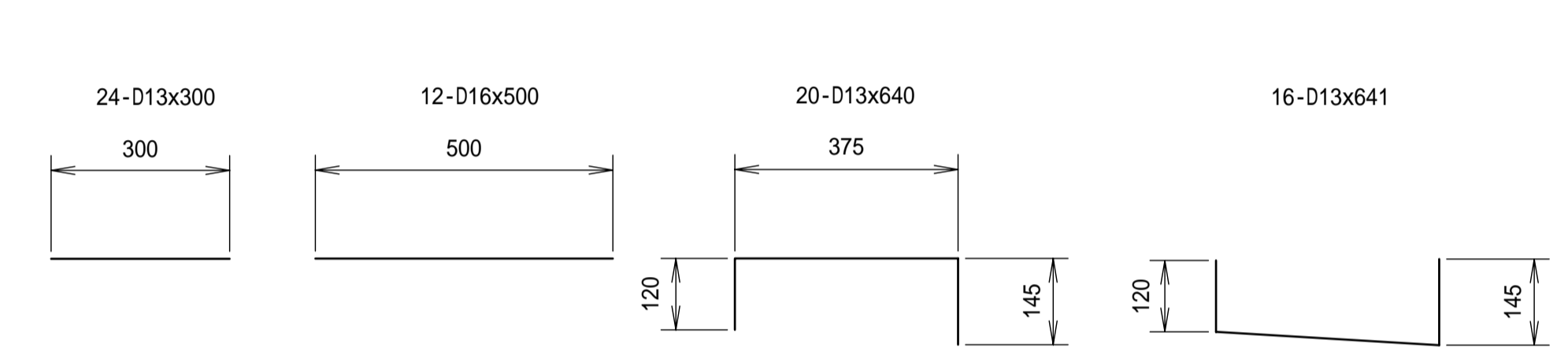
地覆平面図 S=1/10(1/20)



地覆断面図 S=1/10(1/20)



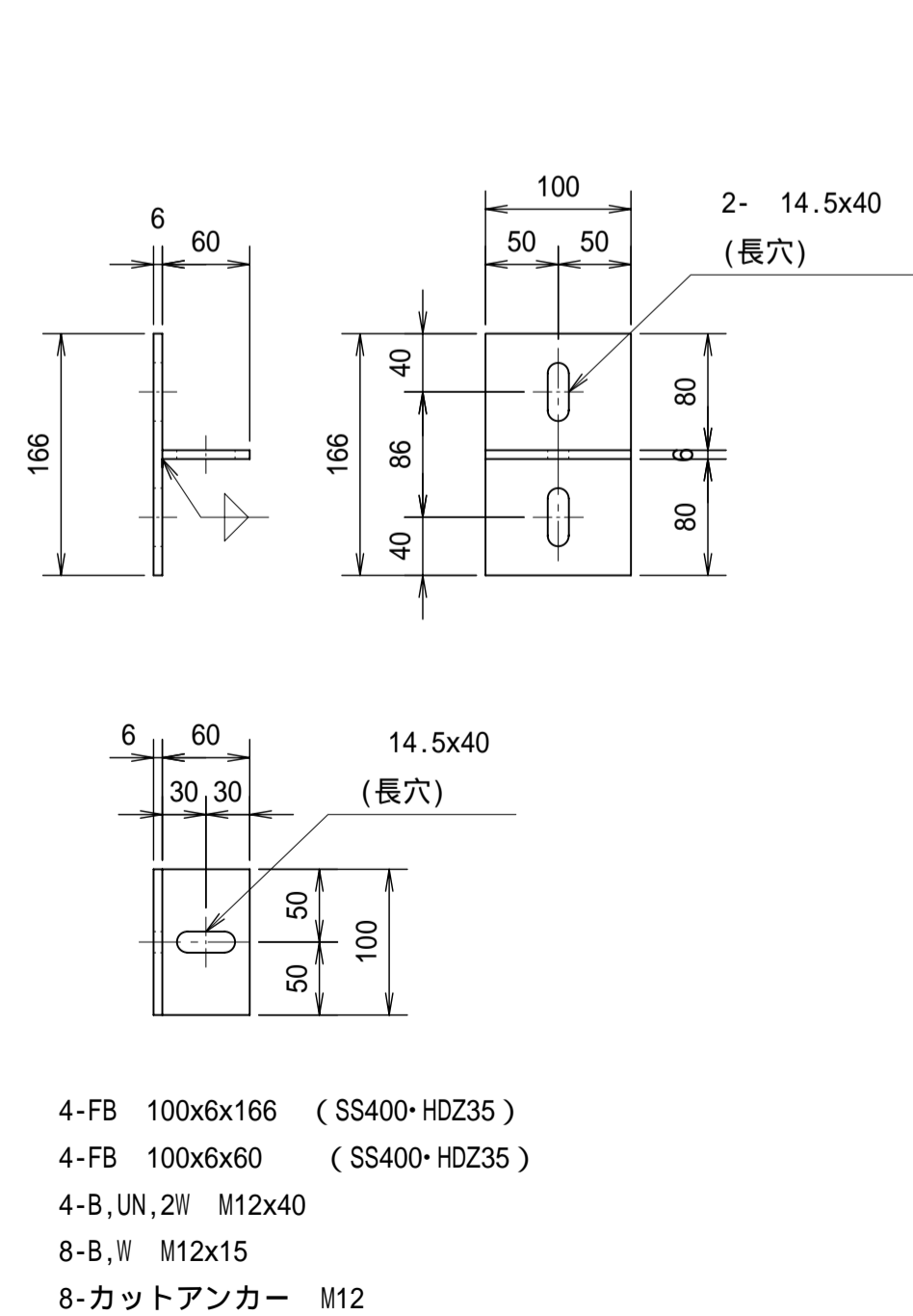
鉄筋加工図 S=1/10(1/20)



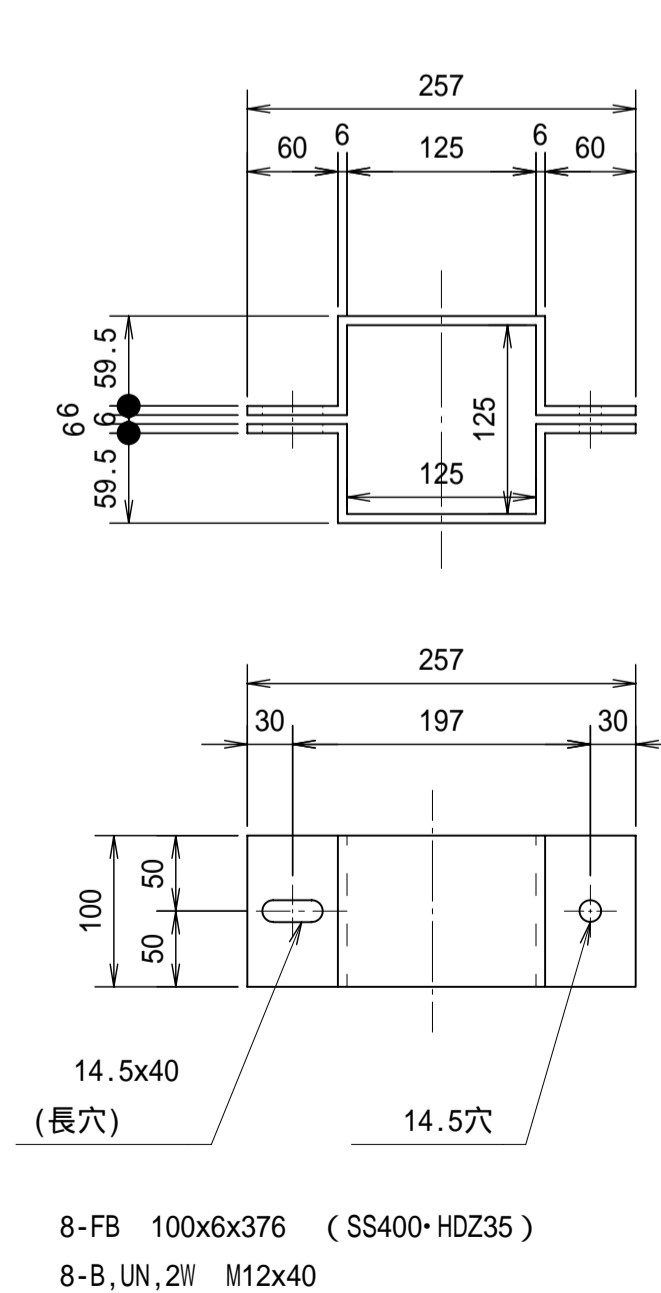
数量表

種別	形状・寸法(mm)	単位重量(kg/m)	1個分重量(kg)	数量	重量(kg)	摘要
	D 16 x 300	1.560	0.47	24	11.3	
	D 16 x 500	1.560	0.78	12	9.4	
	D 13 x 640	0.995	0.64	20	12.8	
	D 13 x 641	0.995	0.64	16	10.2	
重量合計				43.7	kg	

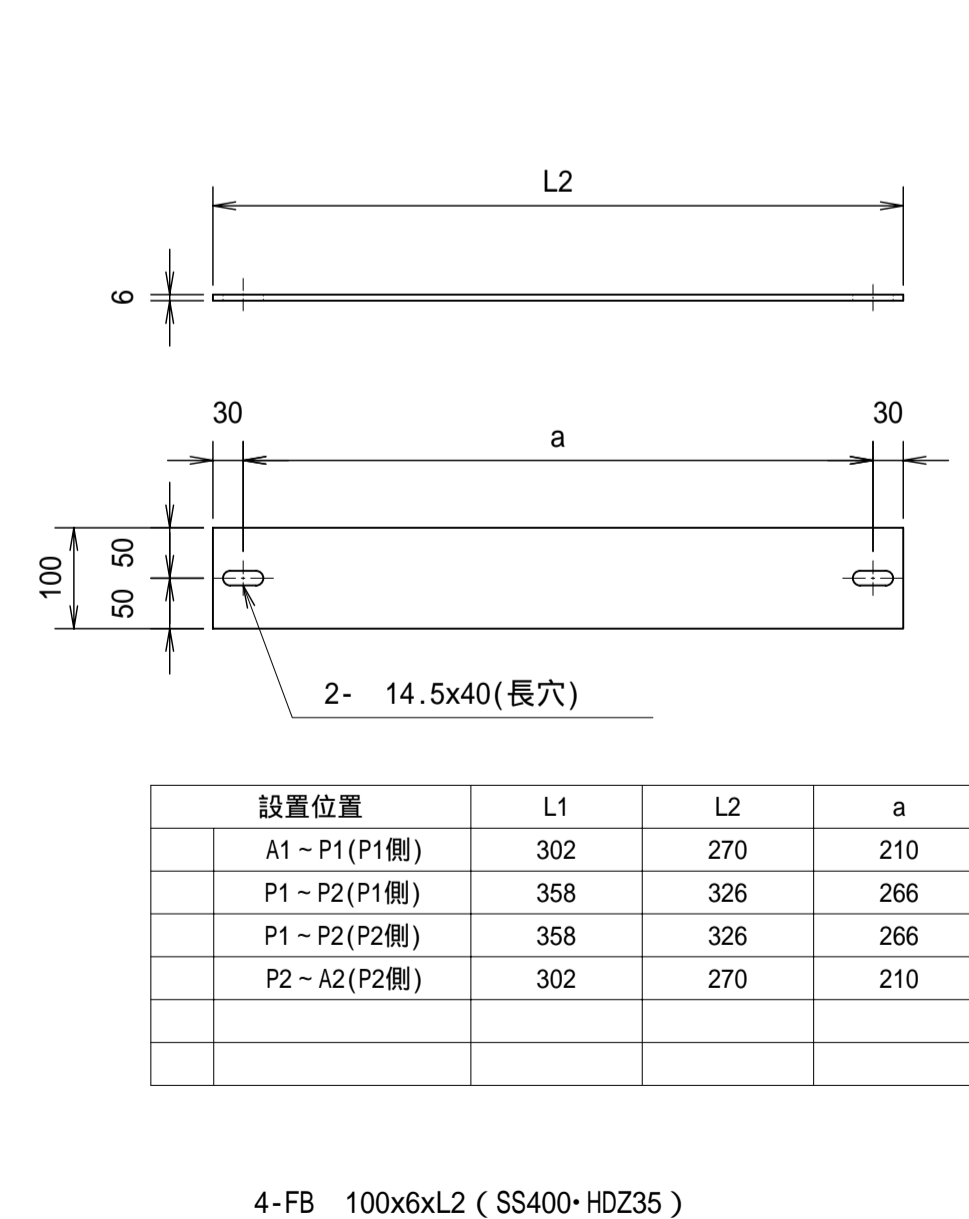
取付金具-A 詳細図 S=1/5(1/10)



取付金具-B 詳細図 S=1/5(1/10)

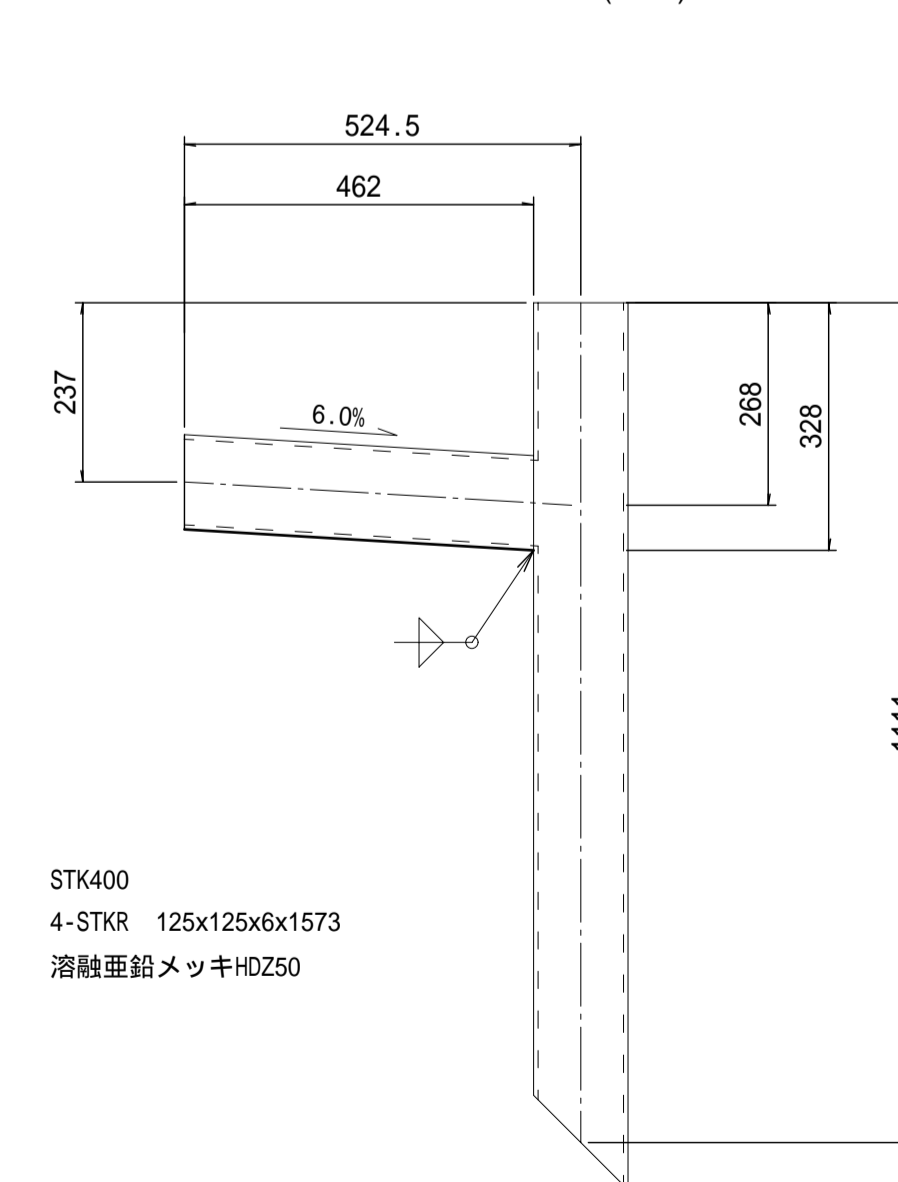


中間PL 詳細図 S=1/5(1/10)

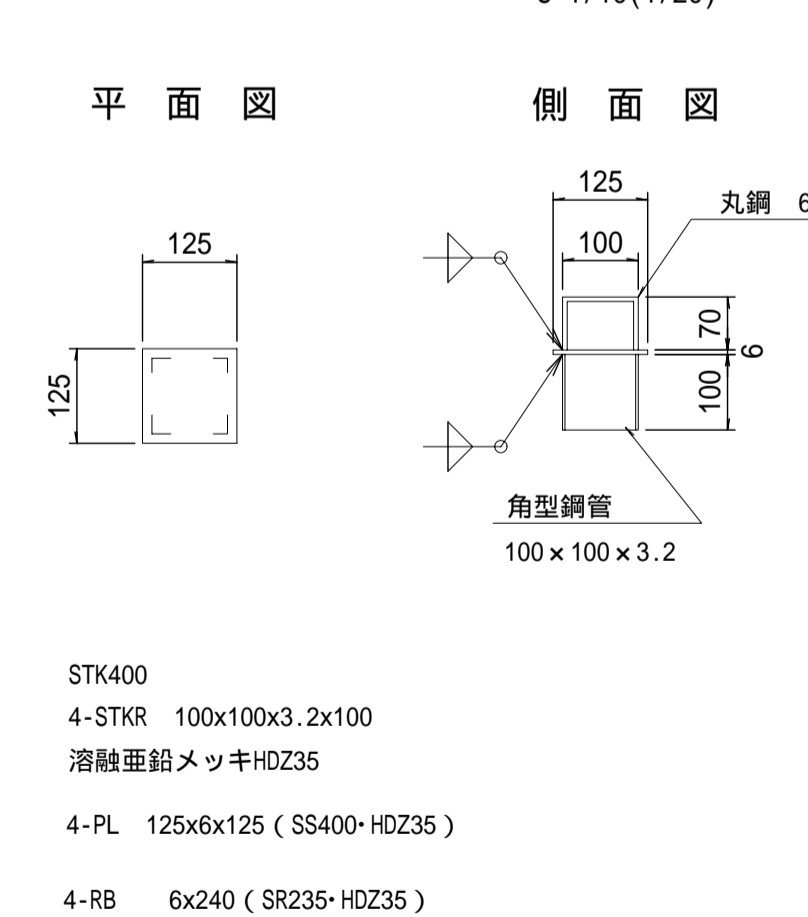


設置位置	L1	L2	a
A1 ~ P1 (P1側)	302	270	210
P1 ~ P2 (P1側)	358	326	266
P1 ~ P2 (P2側)	358	326	266
P2 ~ A2 (P2側)	302	270	210

配水管 詳細図 S=1/10(1/20)



配水管蓋 詳細図 S=1/10(1/20)



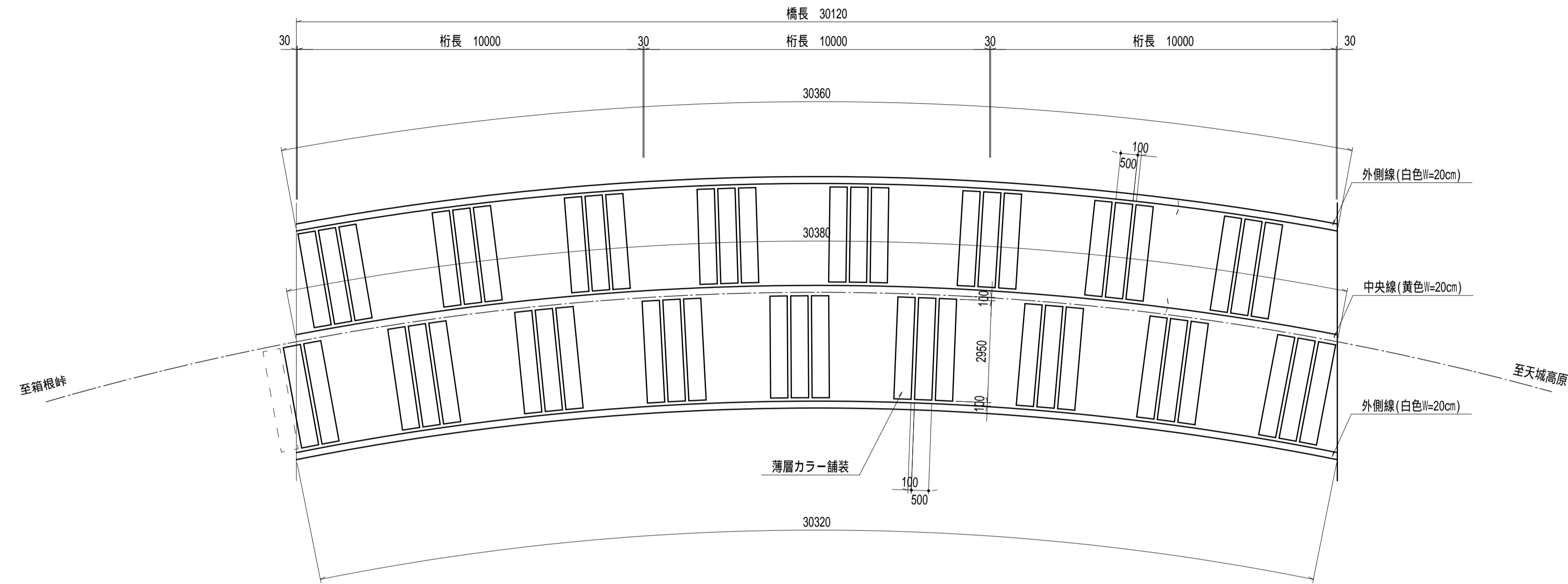
注) 1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」および「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
2. 施工に当たっては、施工箇所、施工範囲、施工深さを再度現地計測の上決定のこと。

工事名	平成28年度 伊豆スカイライン 橋梁補修工事
工事箇所	伊豆の国市 浮橋 地内
図面の種類	橋面防水工詳細図(2)
縮尺	図示 ()内はA3縮小
測量年月日H	設計年月日H
事務所名	静岡県道路公社

区画線工詳細図

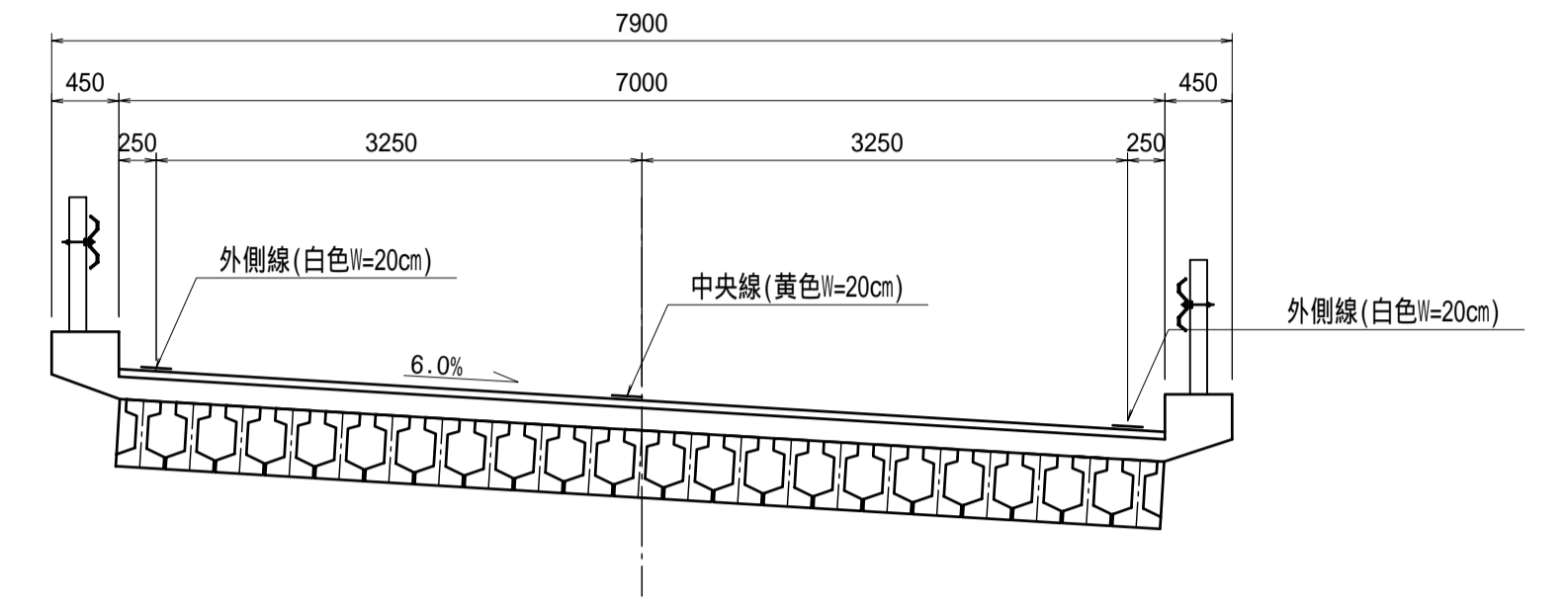
平面図

S=1:100(1:200)



断面図

S=1:50(1:100)



区画線工数量表

1橋当り

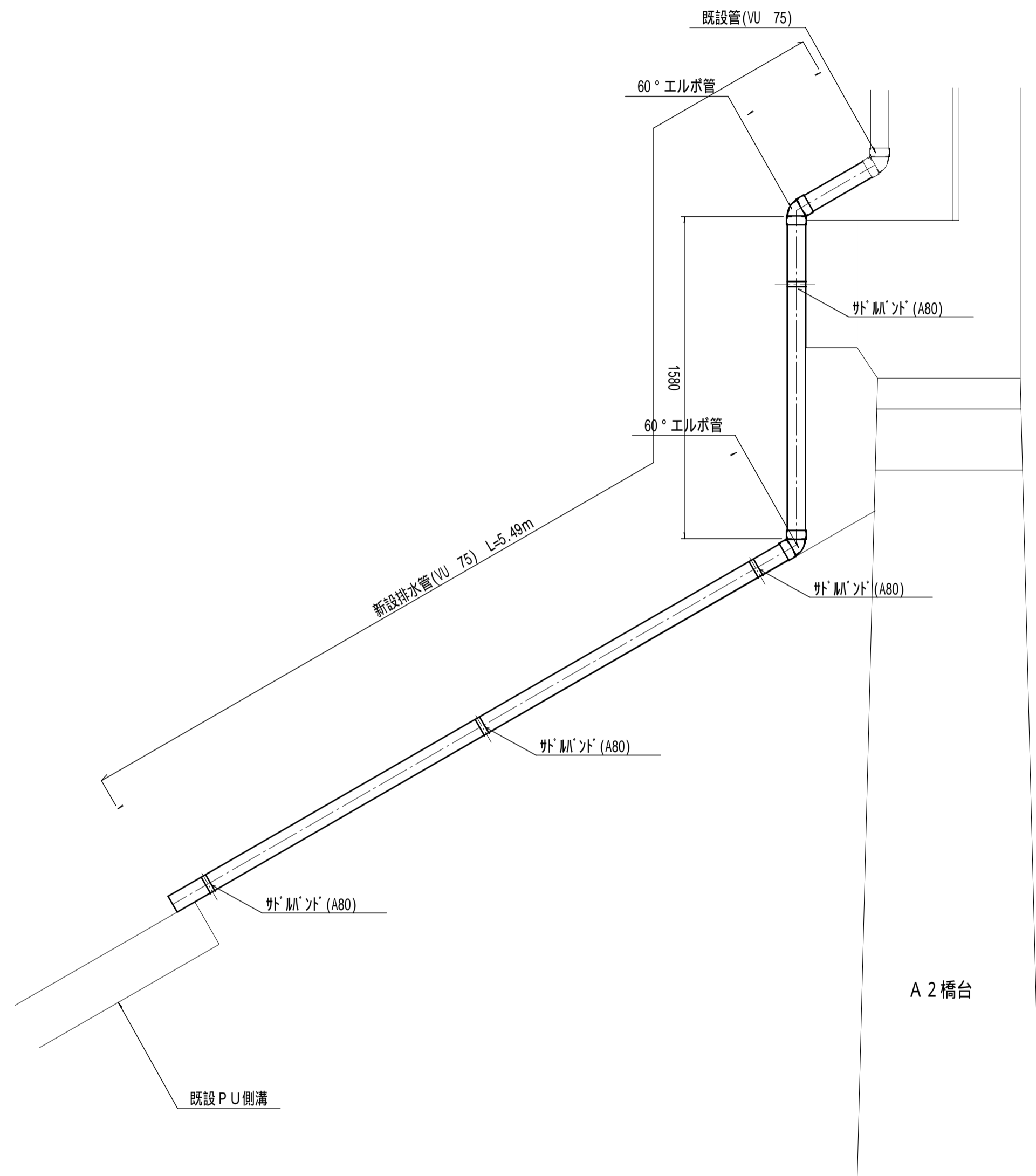
名称	規格	算式	単位	数量
熔融式区画線	白色W=20cm	30.36 + 30.32	m	60.68
熔融式区画線	黄色W=20cm		m	30.38
薄層加舗装	W=50cm	$(2.75 \times 3 \times 8 + 2.95 \times 3 \times 8 + 2.95 \times 2) \times 0.50$	m ²	71.4

- 注) 1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」および「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
2. 施工に当たっては、施工箇所、施工範囲、施工深さを再度現地計測の上決定のこと。

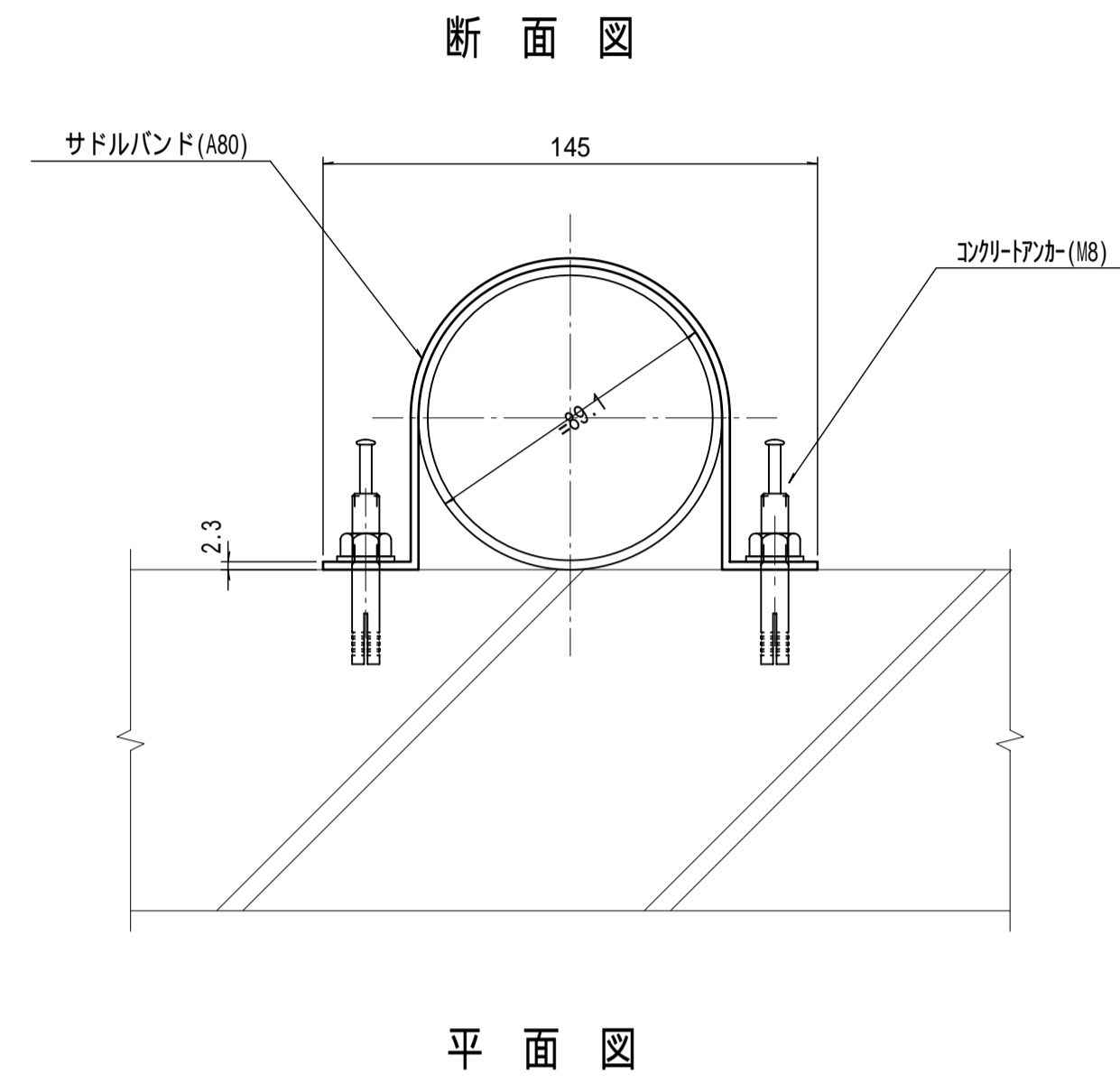
工事名	平成28年度 伊豆スカイライン 橋梁補修工事
工事箇所	伊豆の国市 浮橋 地内
図面の種類	区画線工詳細図
縮尺 図示 ()内はA3縮小	図面番号 11 葉中 5
測量年月日 H	設計年月日 H
事務所名	静岡県道路公社

導水管補修工詳細図

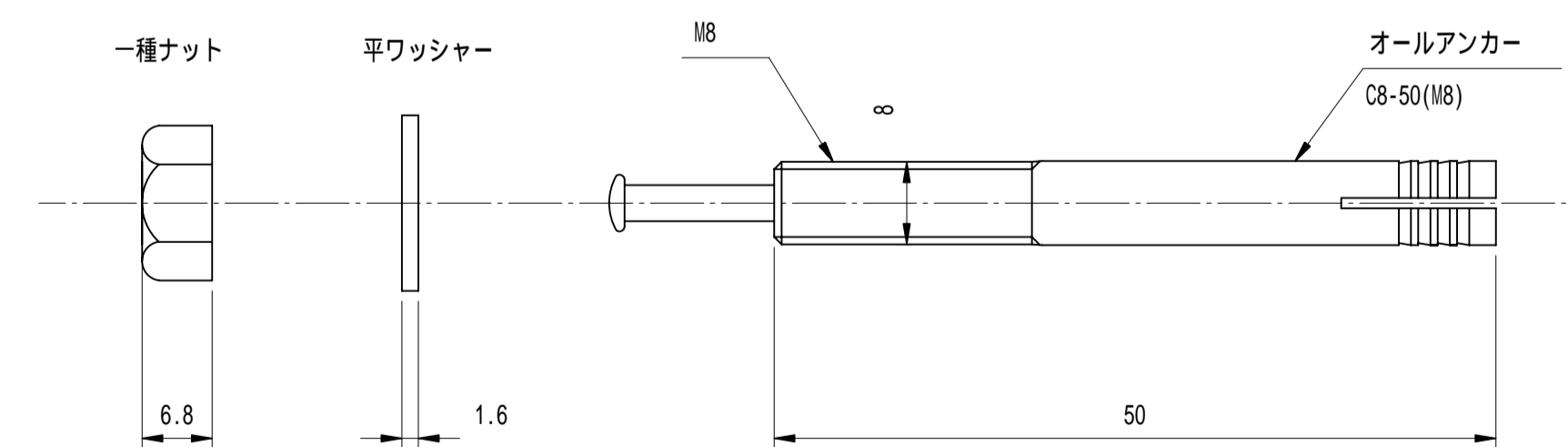
側面図 S=1:20(1:40)
A 2橋台大仁側



サドルバンド詳細図 S=1:2(1:4)



コンクリートアンカー



排水管数量表

名称	規格	算式	単位	数量
塩ビ管	VU 75	0.41 + 1.58 + 3.50	m	5.49
エルボ管	60° VU 75用		個	2
サドルバンド	A80		個	4
コクリートアンカー	M8 x 50		本	8
削孔	適合ノミ径8.5mm、削孔深さ40mm		孔	8

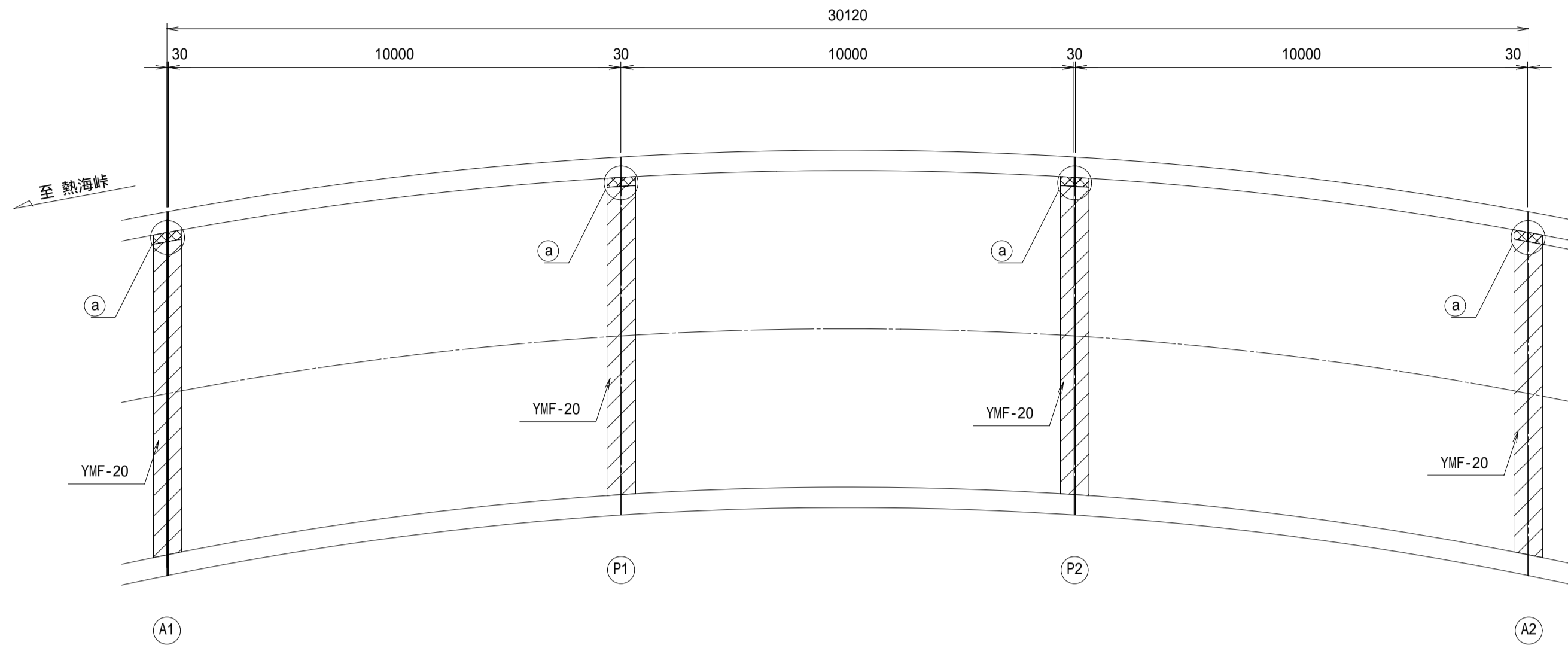
注記：サドルバンドは昭和コクリートZ-SBNT808同等品以上
コクリートアンカーは株式会社J.I.J.-C8-50同等品以上

- 注) 1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」および「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分に把握し併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
2. 施工に当たっては、施工箇所、施工範囲、施工深さを再度現地計測の上決定のこと。
3. 図面に表されていない損傷を確認した場合は、補修対象とするか監督員と協議すること。

工事名	平成28年度 伊豆スカイライン 橋梁補修工事
工事箇所	伊豆の国市 浮橋 地内
図面の種類	導水管補修工詳細図
縮尺	図示 ()内はA3縮小
図面番号	11 葉中 6
測量年月日	H
設計年月日	H
事務所名	静岡県道路公社

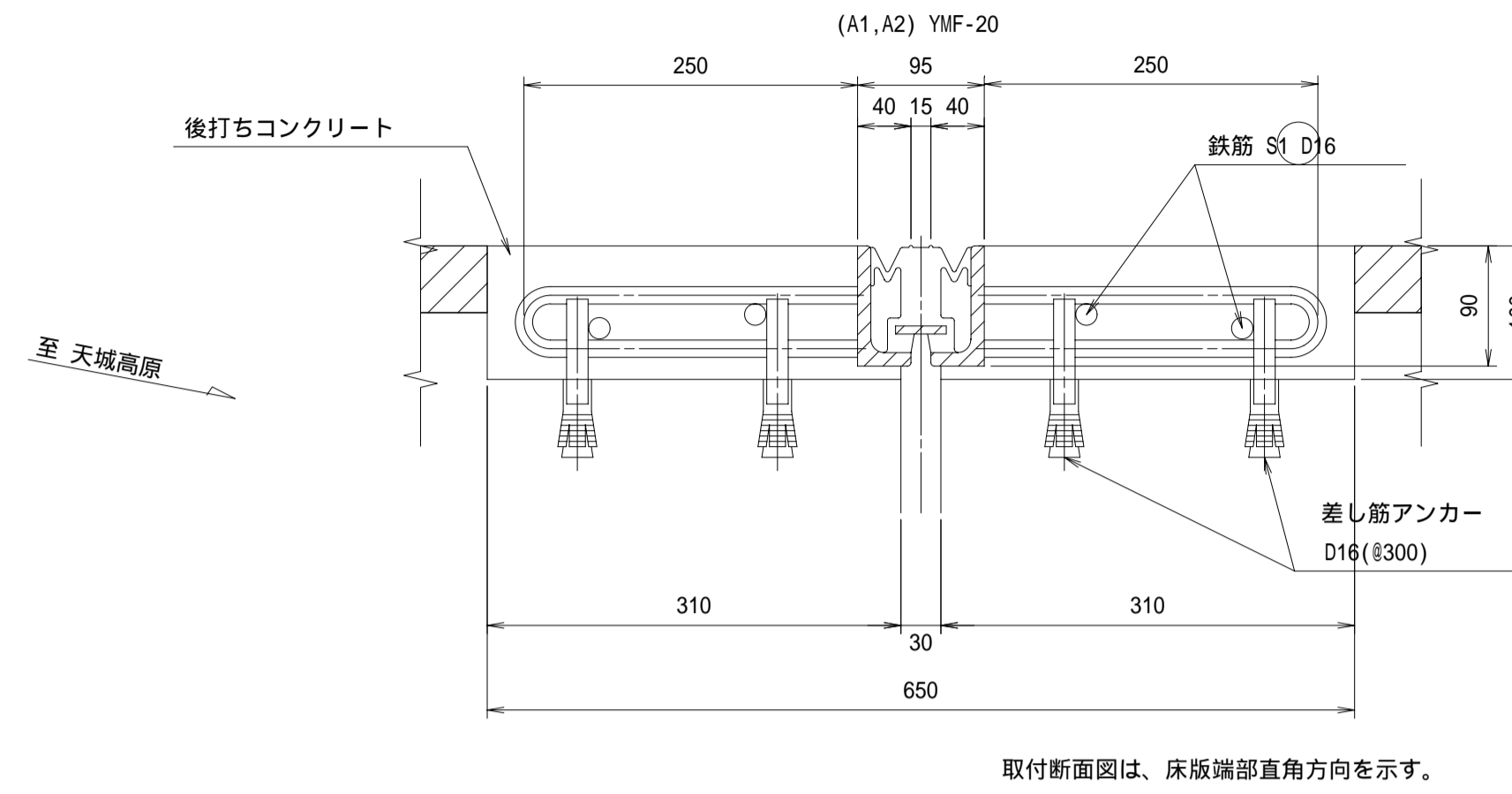
伸縮装置補修図（参考図）

平面図 S=1:100

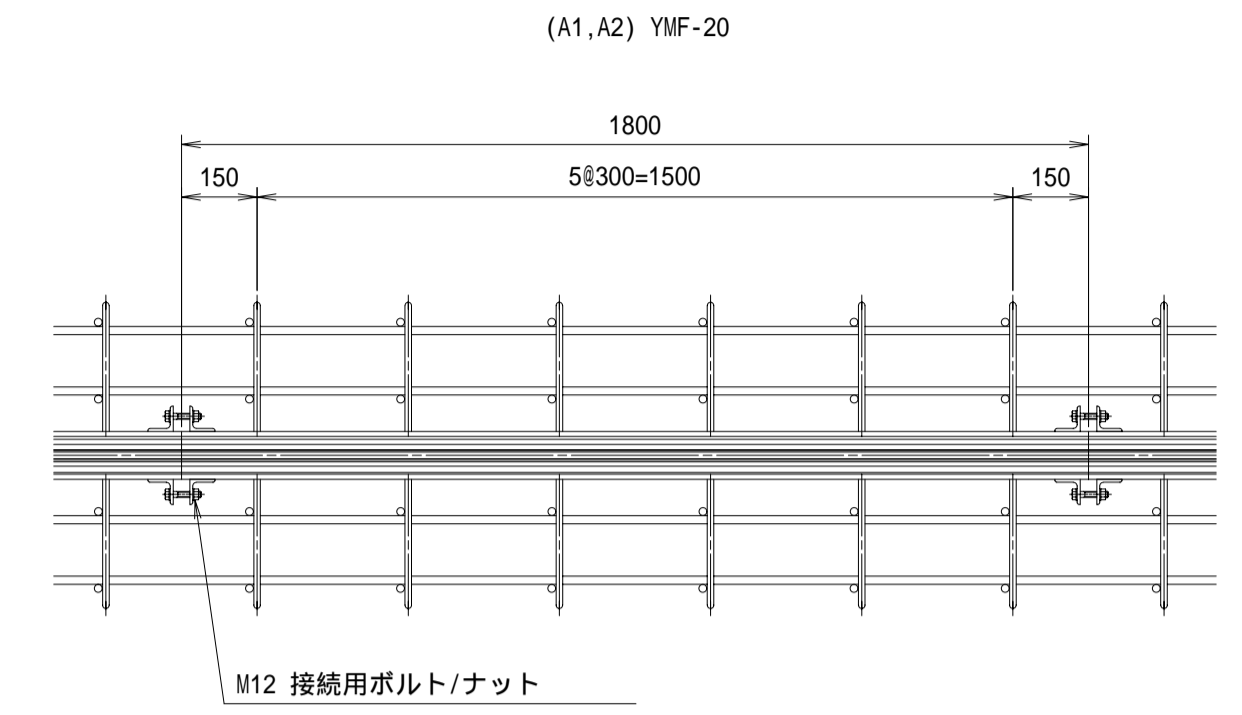


位置には、差筋アンカーを配置しないこと。

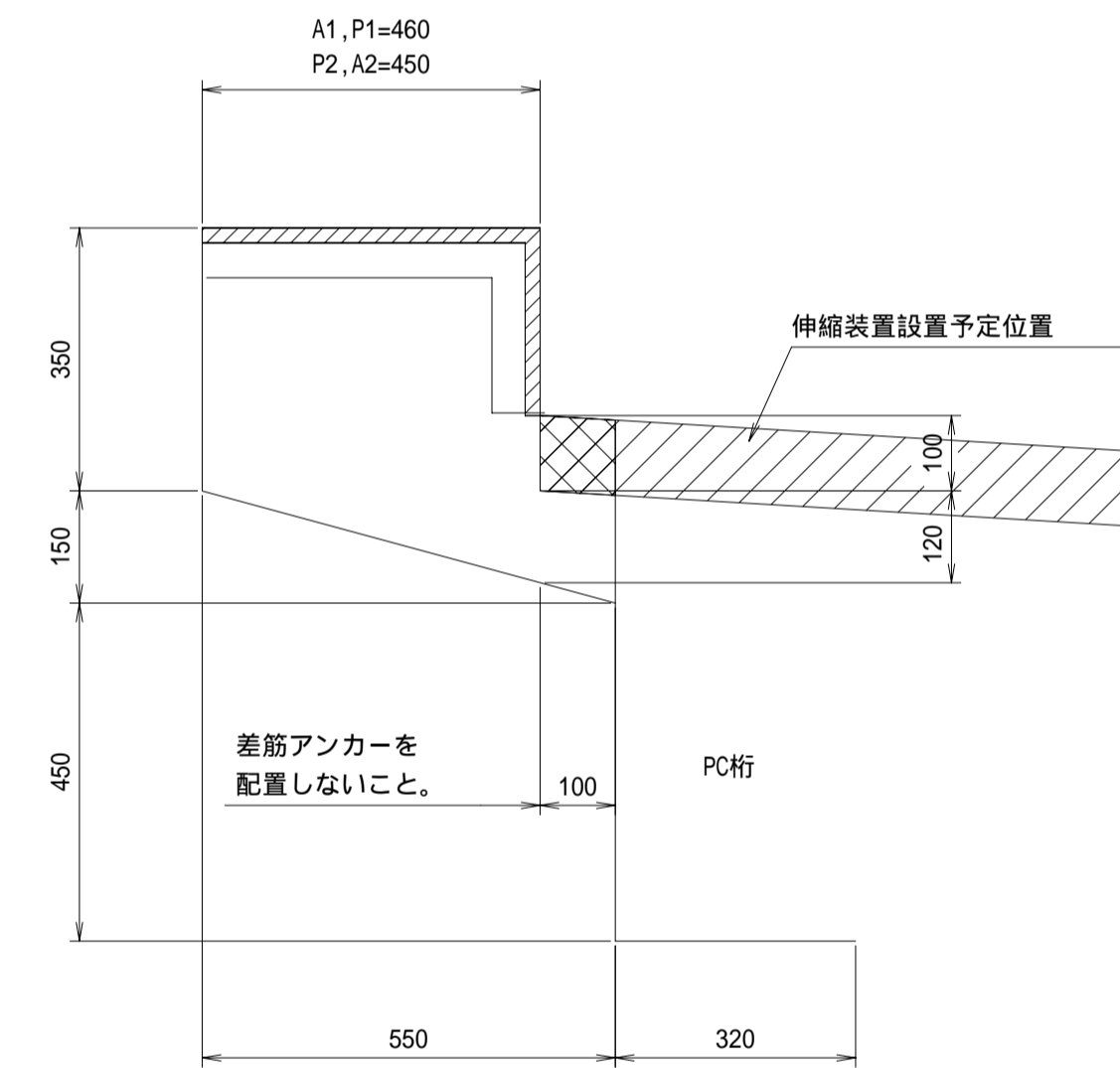
取付断面図 S=1/5



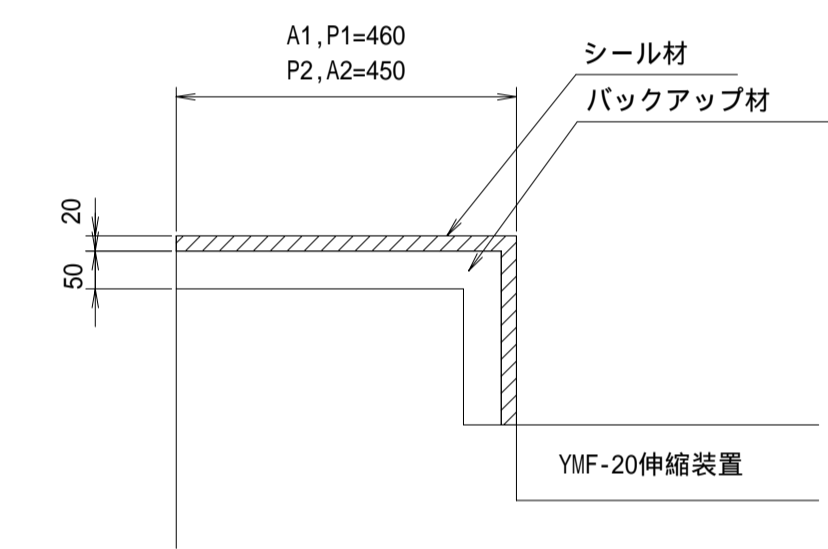
製品図 S=1:15



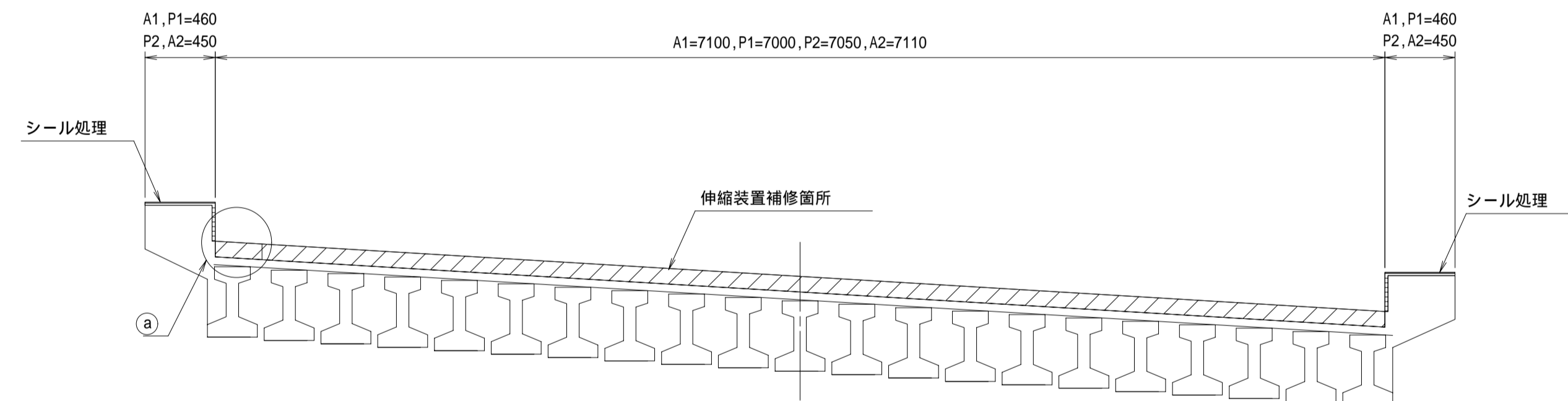
a部詳細図 S=1:10



地覆部詳細図 S=1:10



断面図 S=1:30



数量表

品名	仕様・規格	単位	A1	P1	P2	A2	合計	備考
伸縮装置 YMF-20	ゴム製荷重支持型	m	7.100	7.000	7.050	7.110	28.260	
鉄筋 S1	D16 SD345	kg	44.30	43.68	43.99	44.37	176.34	
差筋アンカー	D16 異形鉄筋付	本	98	98	98	100	394	
後打ちコンクリート	$\gamma_h = 24.0N/mm^2$	m ³	0.44	0.43	0.44	0.44	1.75	
シール材	シリコン系	ℓ	1.02	1.02	1.01	1.01	4.06	ロス20%計上
シールプライマー	500g缶	缶	-	-	-	-	1	最小ロット
バックアップ材	軟質ウレタンフォーム	ℓ	3.55	3.55	3.50	3.50	14.10	

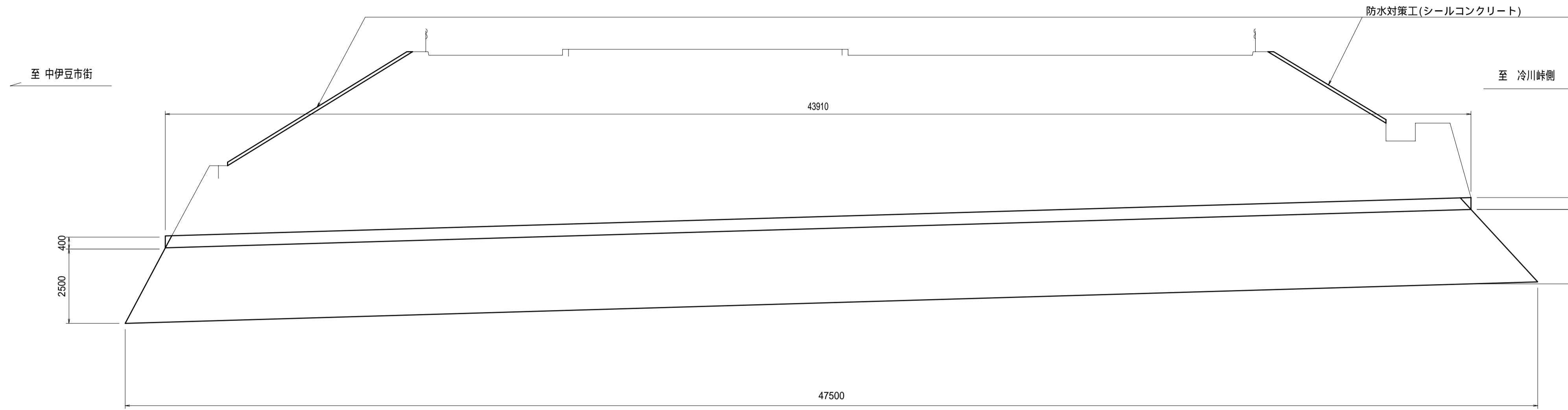
図面寸法は、標準温度時の値とする。
伸縮装置の延長等については施工前に確認すること。
横断勾配の高い方(L側)の車道端100mmには差筋アンカーを配置しないこと。

工事名	平成28年度 伊豆スカイライン 橋梁補修工事
工事箇所	伊豆の国市 浮橋 地内
図面の種類	伸縮装置補修図（参考図）
縮尺 図示 ()内はA3縮小	図面番号 11 葉中 7
測量年月日 H	設計年月日 H
事務所名	静岡県道路公社

31.1kmBOX 補修一般図

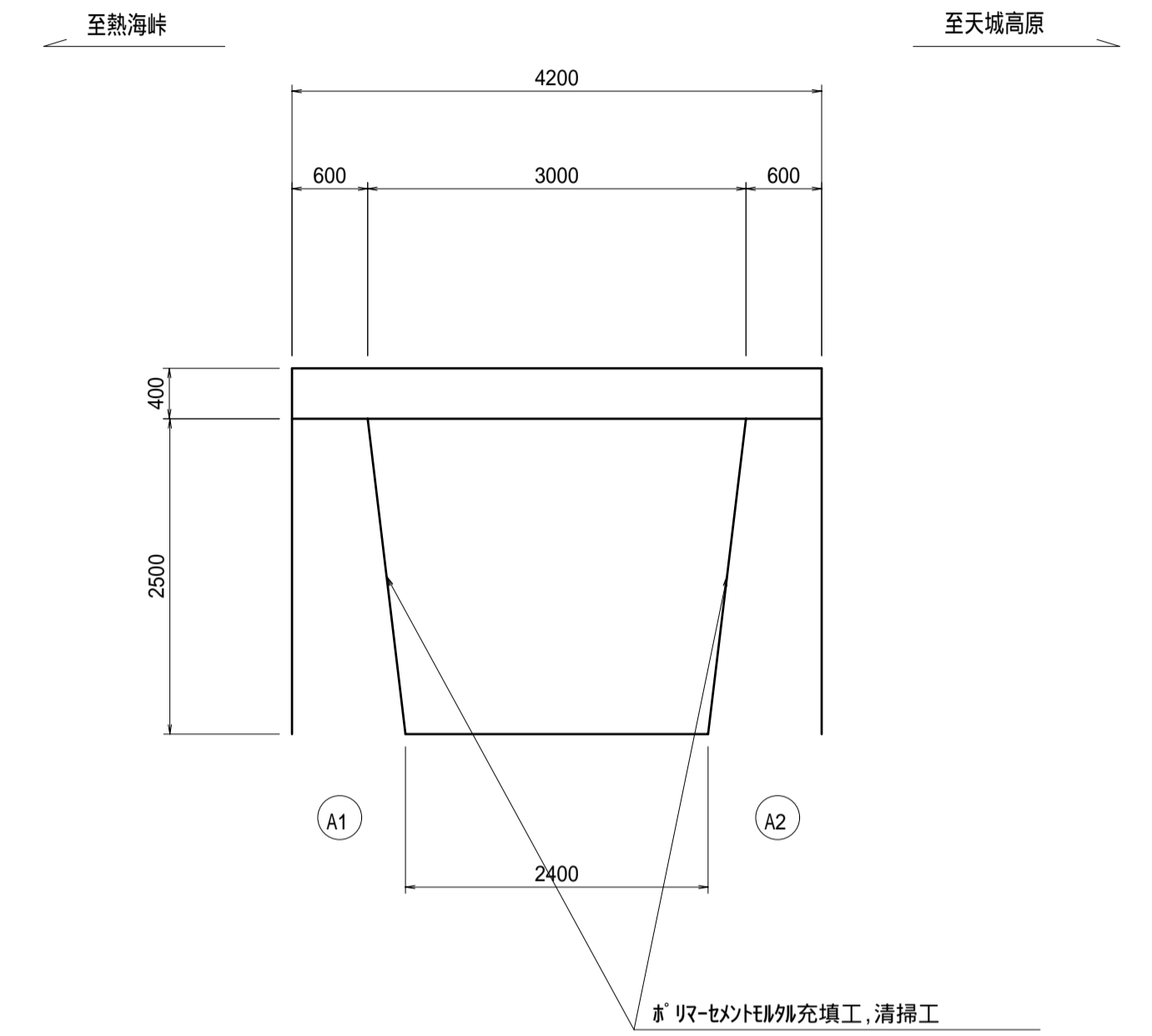
断面図

S=1:100(1:200)



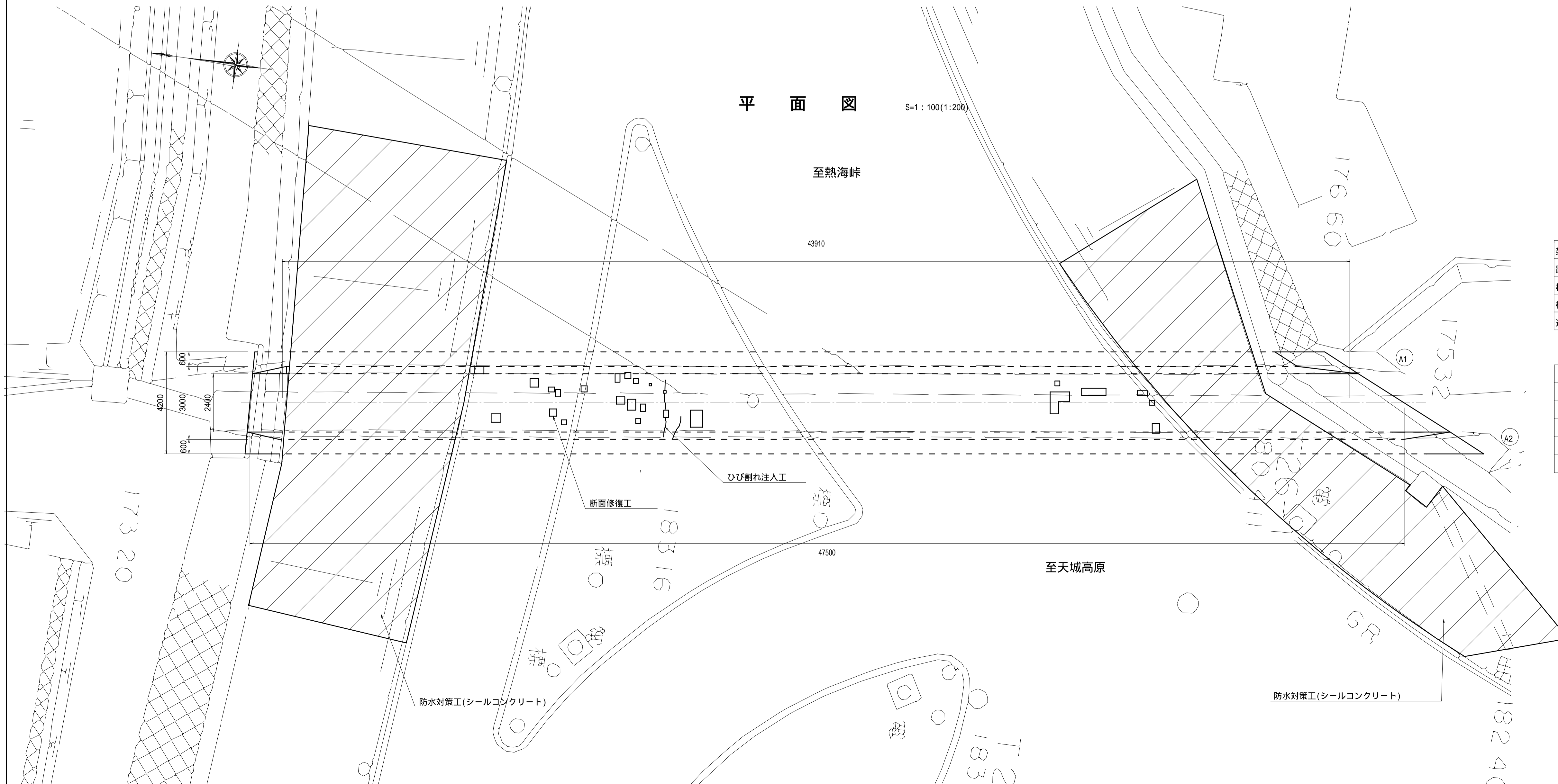
断面図

S=1:50(1:100)



平面図

S=1:100(1:200)



架設年次	不明
路線名称	伊豆スカイライン
構造形式	床版橋(ボックス)
橋長	4.2m
適用示方書	不明

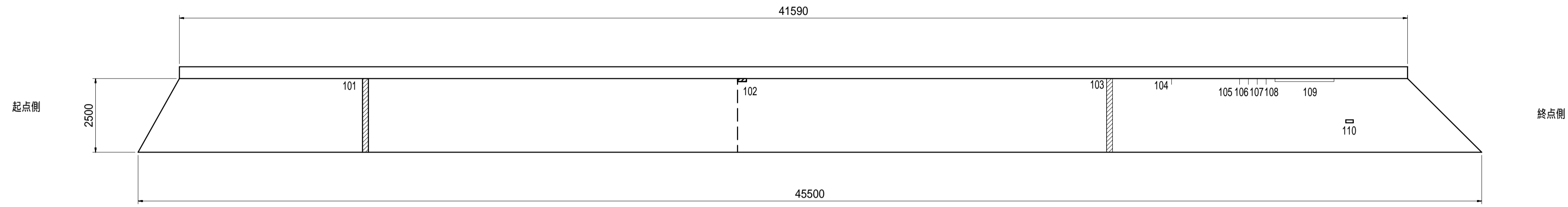
工種	補修箇所	単位	数量	備考
断面修復工		m3	0.149	
δ' R-セメント充填工		m3	0.005	
ひび割れ注入工		m	2.950	
防水対策工		m2	284	シリルコンクリート
清掃工	側壁	m2	5.7	

工事名	平成28年度 伊豆スカイライン 橋梁補修工事
工事箇所	伊豆市 冷川 地内
図面の種類	31.1kmBOX 補修一般図
縮尺 図示 ()内はA3縮小	図面番号 11 葉中 8
測量年月日 H	設計年月日 H
事務所名	静岡県道路公社

31.1kmBOX 損傷・補修図(1)

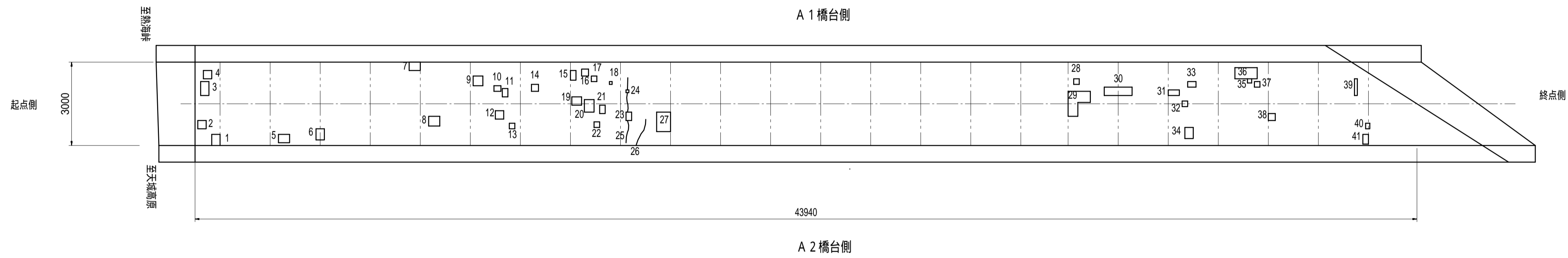
A 1 橋台正面図

S=1 : 100(1:200)



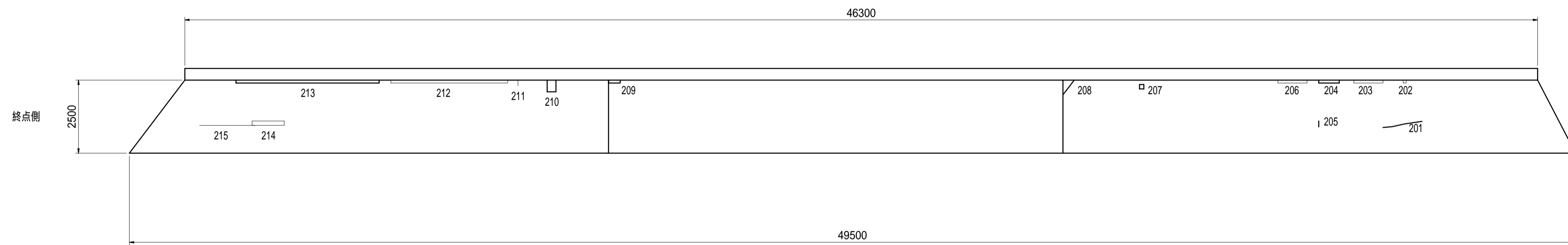
平面図

S=1 : 100(1:200)



A 2 橋台正面図

S=1 : 100(1:200)



- 注) 1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」および「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 2. 施工に当たっては、施工箇所、施工範囲、施工深さを再度現地計測の上決定のこと。
 3. 図面に表されていない損傷を確認した場合は、補修対象とするか監督員と協議すること。

工事名	平成28年度 伊豆スカイライン 橋梁補修工事
工事箇所	伊豆市 冷川 地内
図面の種類	31.1kmBOX 損傷・補修図(1)
縮尺 図示 ()内はA3縮小	図面番号 11 業中 9
測量年月日 H	設計年月日 H
事務所名	静岡県道路公社

31.1kmBOX 損傷・補修図(2)

頂版損傷・補修寸法表

① - ④

位置	損傷状況	幅B(mm)	長さL(mm)	深さt(mm)	箇所数	補修内容	幅B(mm)	長さL(mm)	深さt(mm)	箇所数	
1	頂版下面	鉄筋露出	400	300	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	400	300	30	1
2	頂版下面	うき	300	300	30	1	断面修復工	300	300	30	1
3	頂版下面	鉄筋露出	500	300	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	500	300	30	1
4	頂版下面	鉄筋露出	300	300	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	300	300	30	1
5	頂版下面	鉄筋露出	300	400	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	300	400	30	1
6	頂版下面	鉄筋露出	400	300	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	400	300	30	1
7	頂版下面	鉄筋露出	300	400	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	300	400	30	1
8	頂版下面	鉄筋露出	400	350	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	400	350	30	1
9	頂版下面	鉄筋露出	350	350	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	350	350	30	1
10	頂版下面	鉄筋露出	200	250	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	200	250	30	1
11	頂版下面	鉄筋露出	300	200	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	300	200	30	1
12	頂版下面	鉄筋露出	300	300	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	300	300	30	1
13	頂版下面	鉄筋露出	200	200	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	200	200	30	1
14	頂版下面	鉄筋露出	250	250	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	250	250	30	1
15	頂版下面	鉄筋露出	350	200	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	350	200	30	1
16	頂版下面	鉄筋露出	200	200	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	200	200	30	1
17	頂版下面	鉄筋露出	200	200	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	200	200	30	1
18	頂版下面	鉄筋露出	100	100	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	100	100	30	1
19	頂版下面	鉄筋露出	350	300	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	350	300	30	1
20	頂版下面	鉄筋露出	450	350	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	450	350	30	1
21	頂版下面	鉄筋露出	300	200	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	300	200	30	1
22	頂版下面	鉄筋露出	200	200	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	200	200	30	1
23	頂版下面	鉄筋露出	300	200	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	300	200	30	1
24	頂版下面	鉄筋露出	100	100	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	100	100	30	1
25	頂版下面	ひび割れ	0.20	1950	30	1	ひび割れ注入工(低圧注入工法)	0.20	1950	400	1
26	頂版下面	ひび割れ	0.20	1000	30	1	ひび割れ注入工(低圧注入工法)	0.20	1000	400	1
27	頂版下面	鉄筋露出	700	500	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	700	500	30	1
28	頂版下面	鉄筋露出	200	200	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	200	200	30	1
29-1	頂版下面	鉄筋露出	900	350	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	900	350	30	1
29-2	頂版下面	鉄筋露出	400	450	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	400	450	30	1
30	頂版下面	鉄筋露出	300	1000	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	300	1000	30	1
31	頂版下面	鉄筋露出	200	400	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	200	400	30	1
32	頂版下面	鉄筋露出	200	200	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	200	200	30	1
33	頂版下面	鉄筋露出	200	300	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	200	300	30	1
34	頂版下面	鉄筋露出	400	300	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	400	300	30	1
35	頂版下面	鉄筋露出	150	150	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	150	150	30	1
36	頂版下面	鉄筋露出	400	800	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	400	800	30	1
37	頂版下面	鉄筋露出	200	200	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	200	200	30	1
38	頂版下面	鉄筋露出	250	250	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	250	250	30	1
39	頂版下面	鉄筋露出	600	100	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	600	100	30	1
40	頂版下面	鉄筋露出	200	100	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	200	100	30	1
41	頂版下面	鉄筋露出	350	200	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	350	200	30	1

側壁損傷・補修寸法表

⑩1 - ⑩10

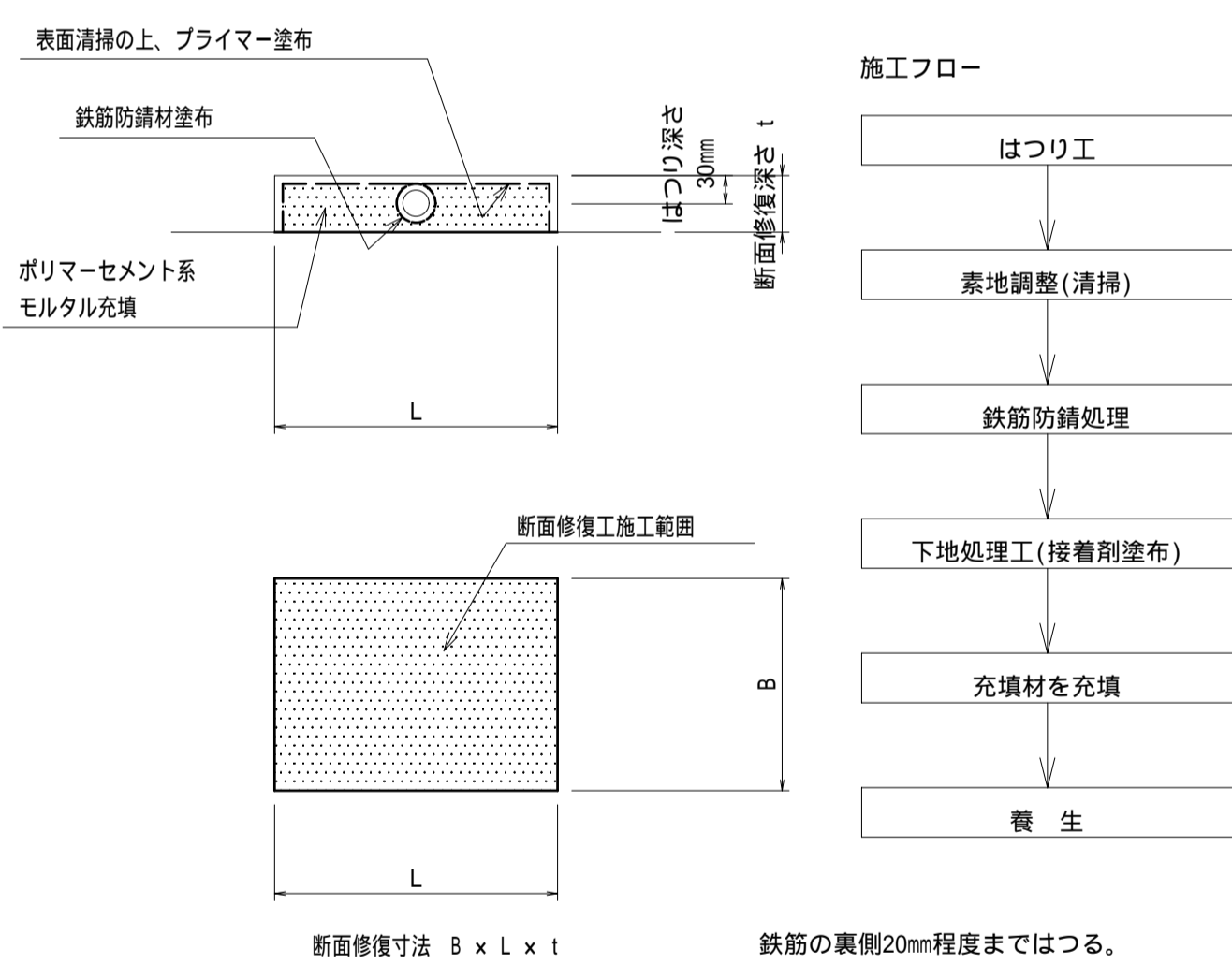
位置	損傷状況	幅B(mm)	長さL(mm)	深さt(mm)	箇所数	補修内容	幅B(mm)	長さL(mm)	深さt(mm)	箇所数	
101	A1橋台側壁	漏水	-	100	-	1	経過観察	-	-	-	-
102	A1橋台側壁	漏水・目地	-	300	-	1	経過観察	-	-	-	-
103	A1橋台側壁	漏水・目地	-	200	-	1	経過観察	-	-	-	-
104	A1橋台側壁	漏水	-	100	-	1	経過観察	-	-	-	-
105	A1橋台側壁	漏水	-	100	-	1	経過観察	-	-	-	-
106	A1橋台側壁	漏水	-	100	-	1	経過観察	-	-	-	-
107	A1橋台側壁	漏水	-	100	-	1	経過観察	-	-	-	-
108	A1橋台側壁	漏水	-	100	-	1	経過観察	-	-	-	-
109	A1橋台側壁	漏水	-	2000	-	1	経過観察	-	-	-	-
110	A1橋台側壁	ジャンカ	100	50	30	1	ポリマーセメント系モルタル充填工	100	50	30	1

側壁損傷・補修寸法表

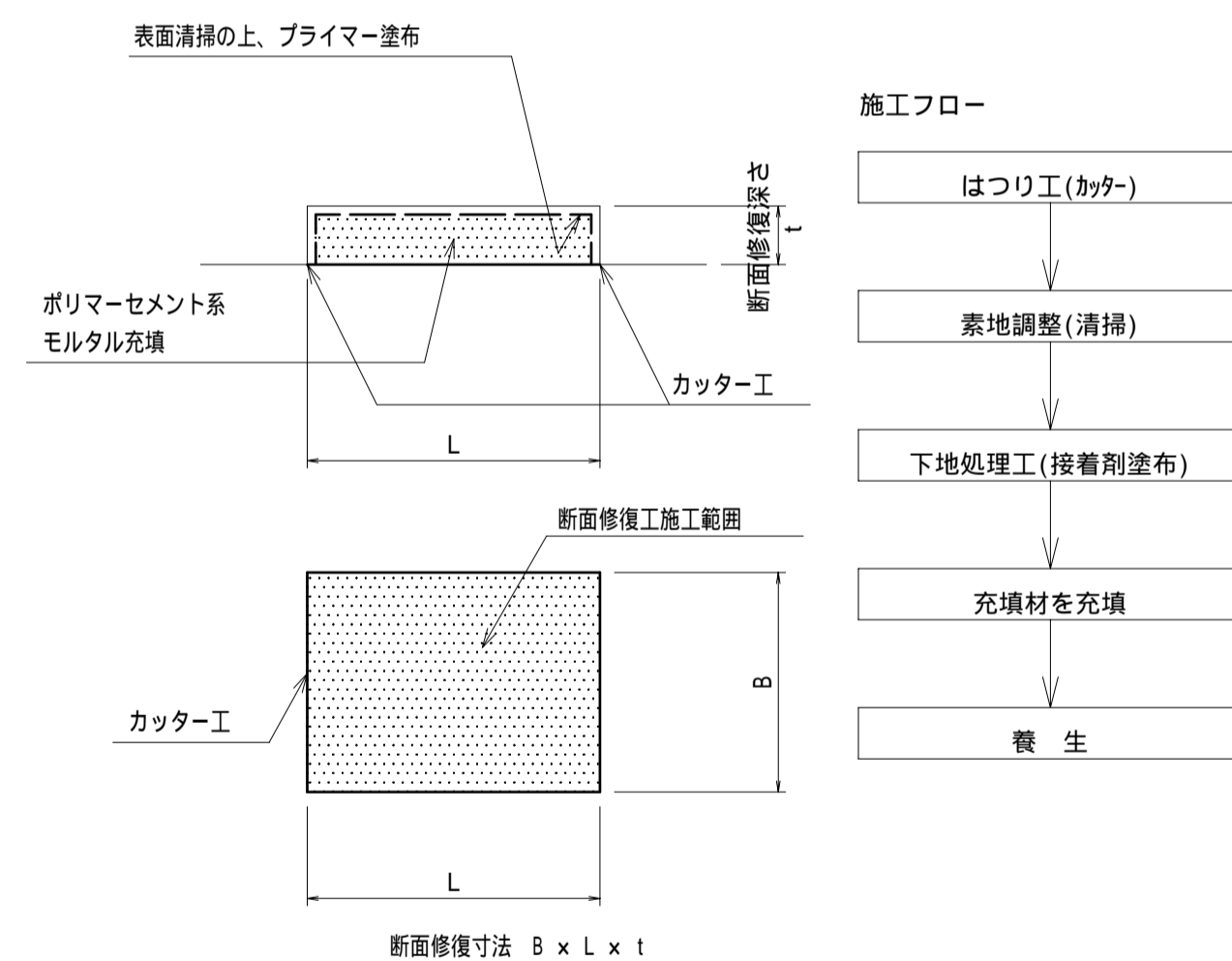
⑩1 - ⑩15

位置	損傷状況	幅B(mm)	長さL(mm)	深さt(mm)	箇所数	補修内容	幅B(mm)	長さL(mm)	深さt(mm)	箇所数	
201	A2橋台側壁	遊離石灰・漏水	-	1350	-	1	経過観察	-	1350	-	-
202	A2橋台側壁	漏水	-	200	-	1	経過観察	-	200	-	-
203	A2橋台側壁	漏水	-	1000	-	1	経過観察	-	1000	-	-
204	A2橋台側壁	漏水	-	700	-	1	経過観察	-	700	-	-
205	A2橋台側壁	漏水	-	100	-	1	経過観察	-	100	-	-
206	A2橋台側壁	漏水	-	1000	-	1	経過観察	-	1000	-	-
207	A2橋台側壁	鉄筋露出	150	150	30	1	断面修復工・鉄筋防錆工	150	150	30	1
208	A2橋台側壁	目地	1.5	600	-	1	経過観察	1.5	600	-	-
209	A2橋台側壁	漏水・目地	-	400	-	1	経過観察	-	400	-	-
210	A2橋台側壁	漏水	300	400	-	1	経過観察	300	400	-	-
211	A2橋台側壁	漏水	-	100	-	1	経過観察	-	100	-	-
212	A2橋台側壁	漏水	-	4000	-	1	経過観察	-	4000	-	-
213	A2橋台側壁	漏水	-	4900	-	1	経過観察	-	4900	-	-
214	A2橋台側壁	ジャンカ	150	1100	30	1	ポリマーセメント系モルタル充填工	150	1100	30	1
215	A2橋台側壁	漏水	-	1900	-	1	経過観察	-	1900	-	-

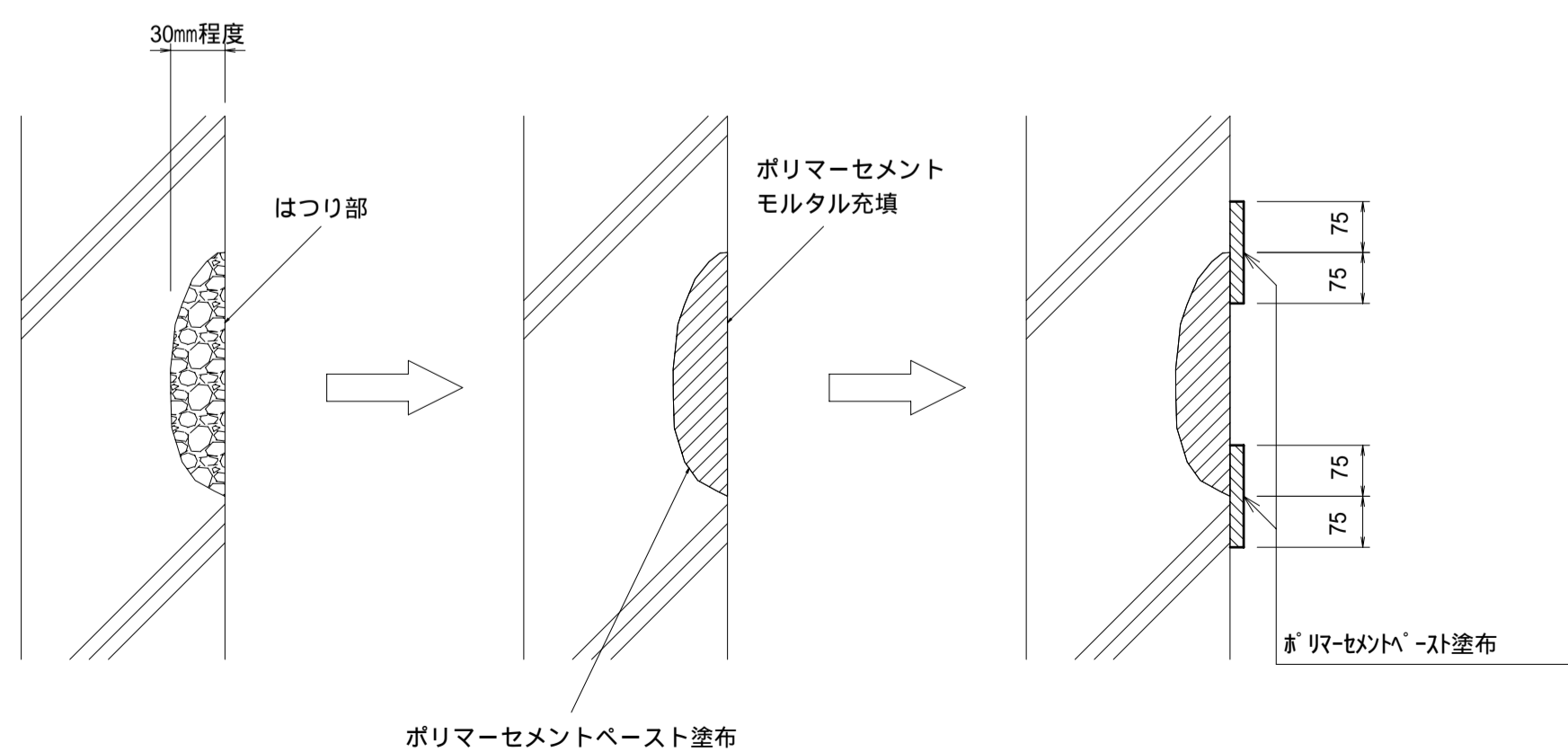
断面修復工・鉄筋防錆工詳細図



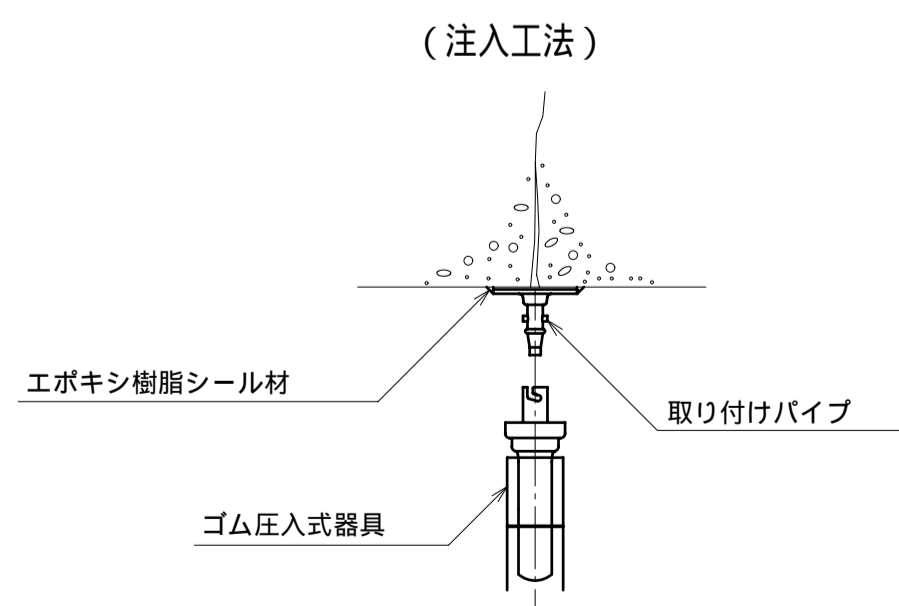
断面修復工詳細図



ポリマーセメント系モルタル充填工詳細図



ひび割れ処理工詳細図

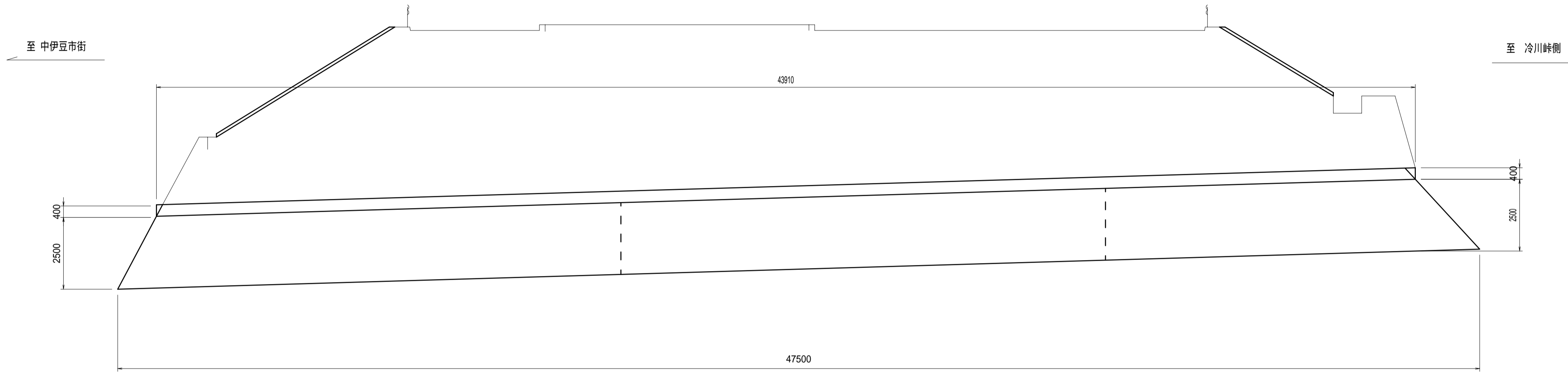


- 注) 1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」および「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し併せて監督員の方を待たずに行うこと。
2. 施工に当たっては、施工箇所、施工範囲、施工深さを再度現地計測の上決定すること。
3. 図面に表されていない損傷を確認した場合は、補修対象とするが監督員と協議すること。

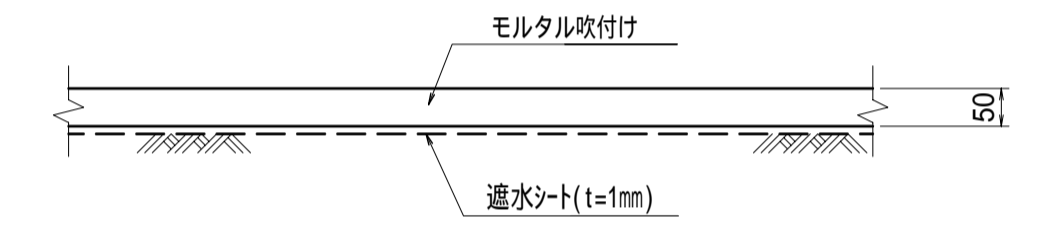
工事名	平成28年度 伊豆スカイライン 橋梁補修工事
工事箇所	伊豆市 冷川 地内
図面の種類	31.1kmBOX 損傷・補修図(2)
縮尺	図示 ()内はA3縮小
測量年月日	H 設計年月日 H
事務所名	静岡県道路公社

防水対策工(シールコンクリート)補修図(参考図)

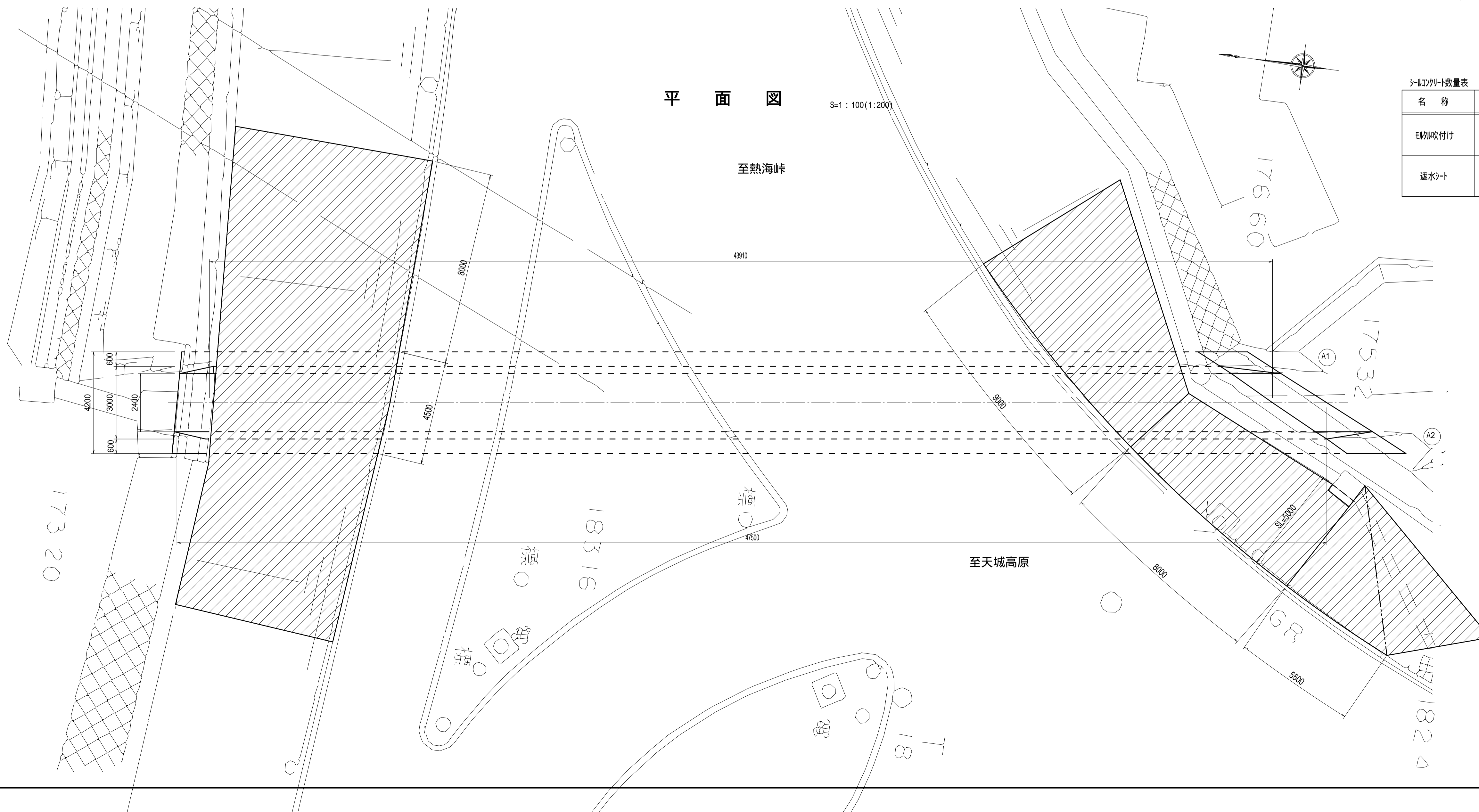
断面図 S=1:100(1:200)



シールコンクリート詳細図 S=1:20(1:40)



平面図 S=1:100(1:200)



名称	規格	算式	単位	数量
モルタル吹付け	t=50mm	$1/2 \times (9.50 + 7.00) \times 20.50 + 1/2 \times (7.00 + 4.00) \times 9.00 + 1/2 \times (4.00 + 5.00) \times 8.00 + 1/2 \times 5.50 \times 5.50 + 1/2 \times 7.50 \times 4.00 - 1.10 \times 0.30$	m ²	284.4
シールコンクリート	数量単位: 1mm t=1mm	$1/2 \times (9.50 + 7.00) \times 20.50 + 1/2 \times (7.00 + 4.00) \times 9.00 + 1/2 \times (4.00 + 5.00) \times 8.00 + 1/2 \times 5.50 \times 5.50 + 1/2 \times 7.50 \times 4.00 - 1.10 \times 0.30$	m ²	284.4

シールコンクリート施工範囲

- 注) 1. 本工事は、橋脚の防水対策を目的として行うものである。
2. 施工に当たっては、施工箇所、施工範囲を監督員に再度、確認の上、行うこと。

工事名	平成28年度 伊豆スカイライン 橋梁補修工事
工事箇所	伊豆市 冷川 地内
図面の種類	防水対策工(シールコンクリート) 補修図(参考図)
縮尺	図示 ()内はA3縮小
測量年月日	H 設計年月日 H
事務所名	静岡県道路公社